

# アンケート調査報告書

## 【特別支援学校】

---

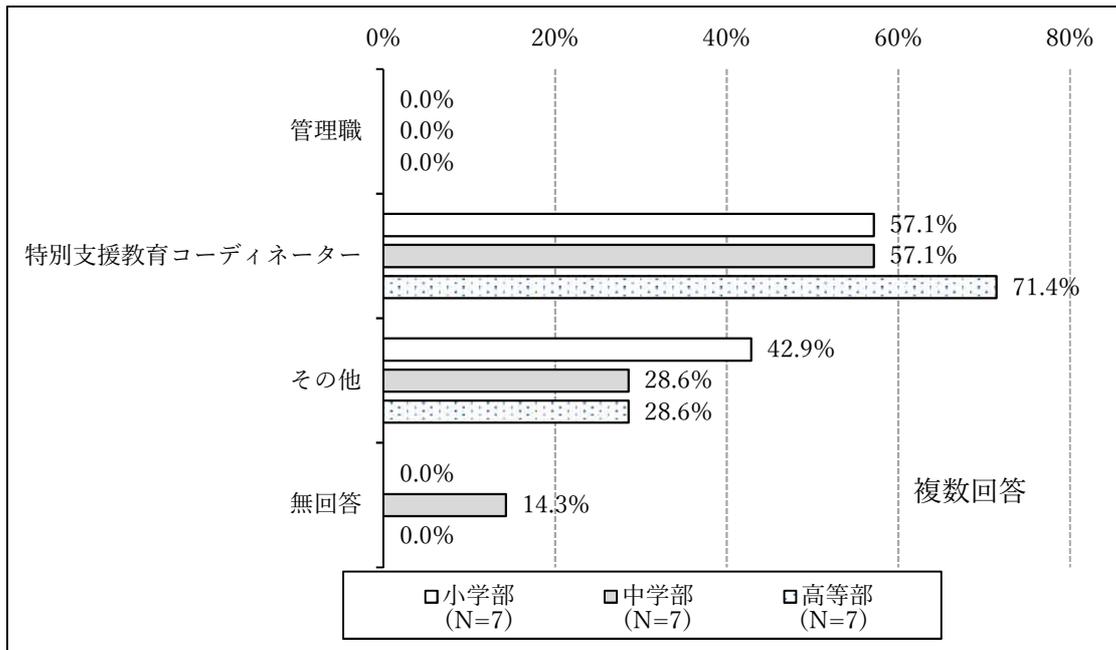
【A 貴校及び調査票ご記入者についてお聞きします】

問1 貴校の学校種別について、お答えください。

特別支援学校は、小学部（7）、中学部（7）、高等部（7）から回答があった。

問2-1 本調査票を記入されている方ご自身の職種について、お答えください。

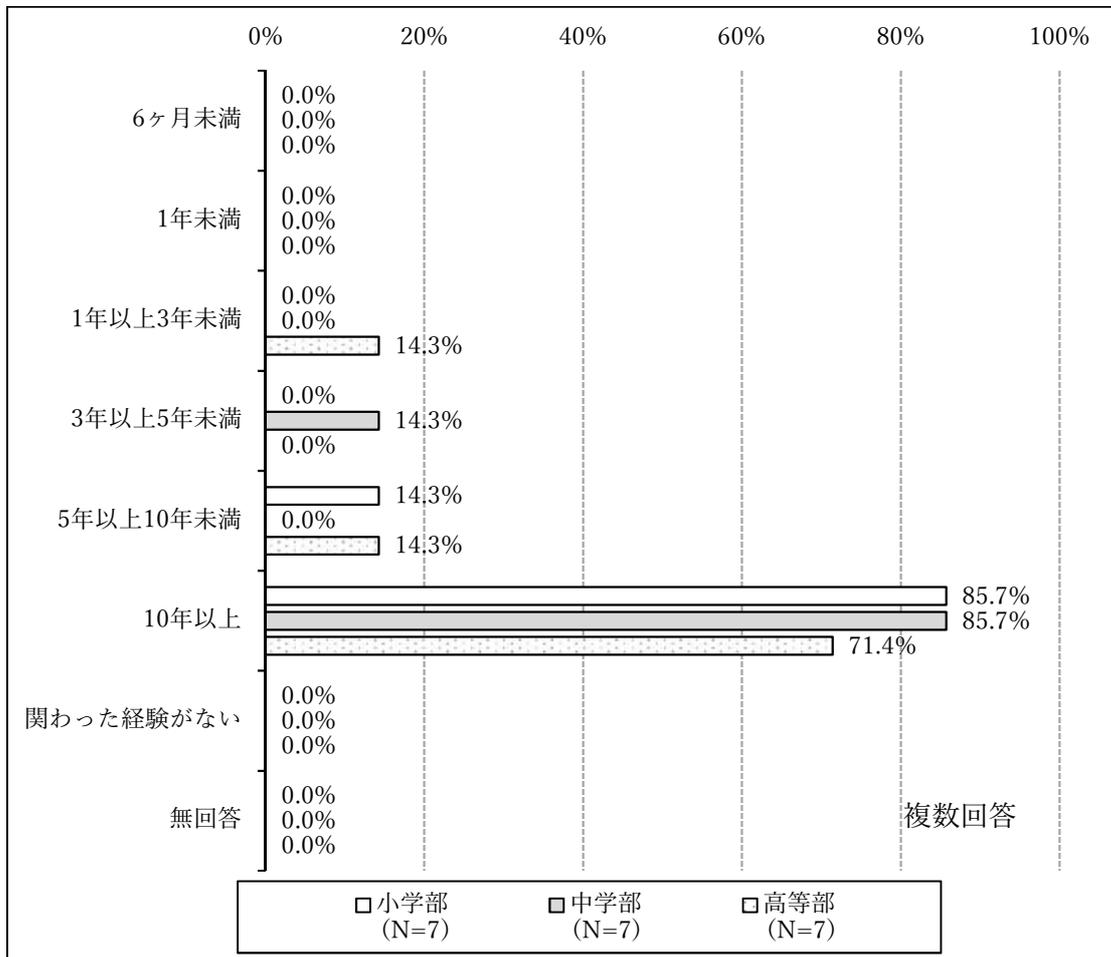
職種は、「特別支援教育コーディネーター」が最も多くなっている。



(その他) 学部主事 (小学部・中学部・高等部) (6)

問2-2 本調査票を記入されている方ご自身の発達障害児者の支援に関わった経験年数について、お答えください。

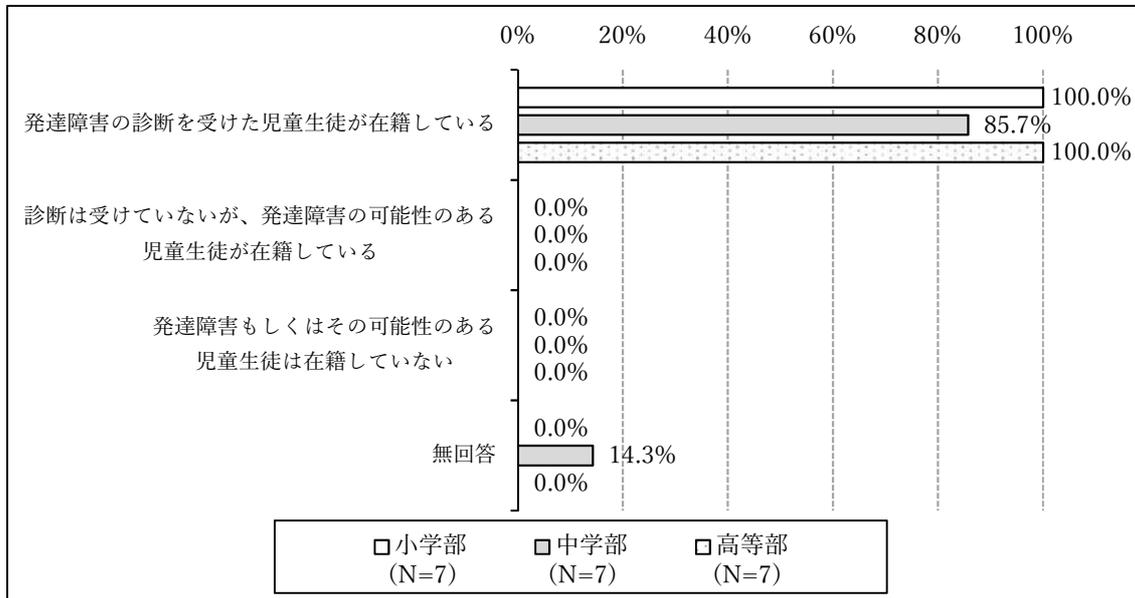
発達障害児者の支援に関わった経験年数は、「10年以上」が最も多くなっている。



【B 発達障害児者への支援について伺います】

問3 貴校には、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒が在籍していますか。

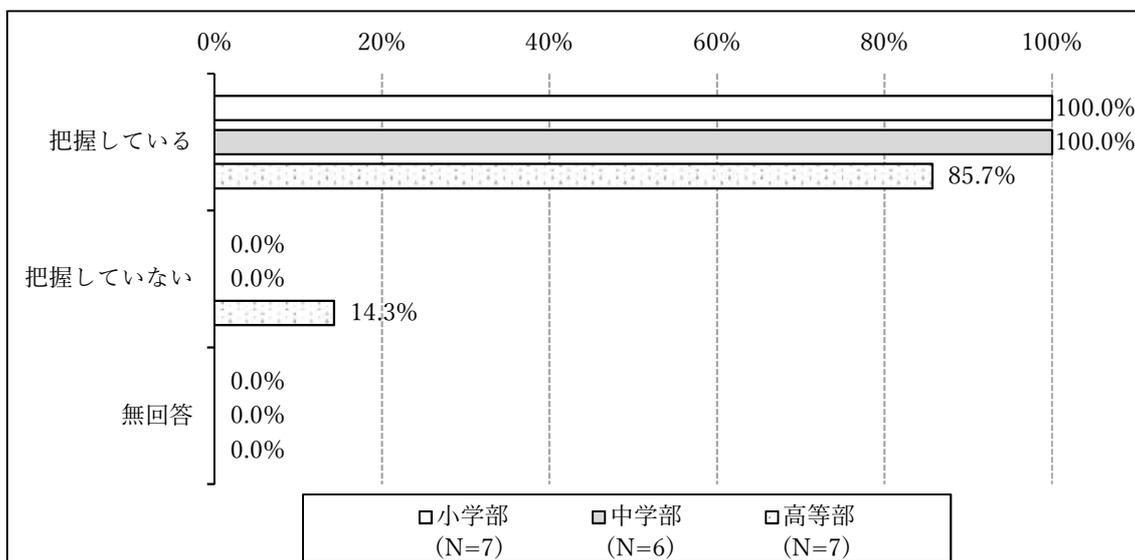
発達障害もしくはその可能性のある児童生徒が在籍しているかについては、「発達障害の診断を受けた児童生徒が在籍している」が最も多くなっている。



【C 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その① 特性の理解)】

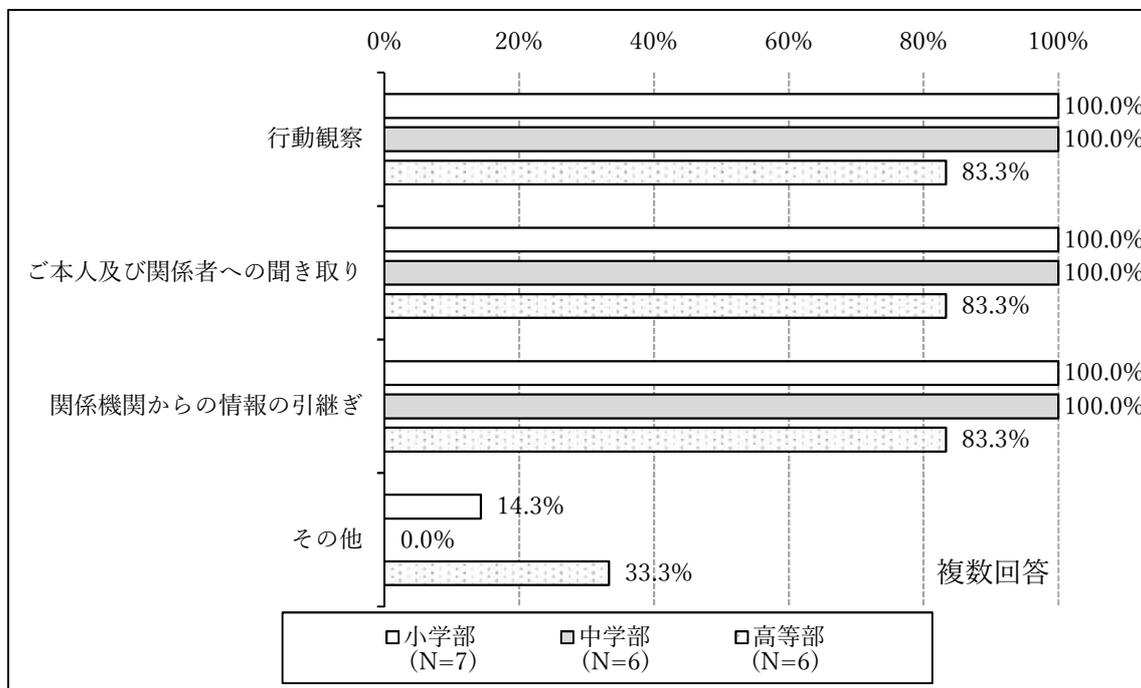
問4 貴校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒について「感じ方 (感覚)」や「周りのことへの理解の仕方」「自分の気持ちの表し方」など (以下「障害特性」と記載) にどのような特性があるか、専門職の人 (医師、発達障害に関する専門機関の職員等) などが調べた結果を把握していますか。

専門職の人が調べた結果を把握しているかについては、「把握している」が多くなっている。



副問4-1 問4で「把握している」と答えた方におたずねします。どのように障害特性を把握していますか。当てはまるものをすべて選んでください。

どのように障害特性を把握しているかについては、「行動観察」、「ご本人及び関係者への聞き取り」、「関係機関からの情報の引継ぎ」とも多くなっている。

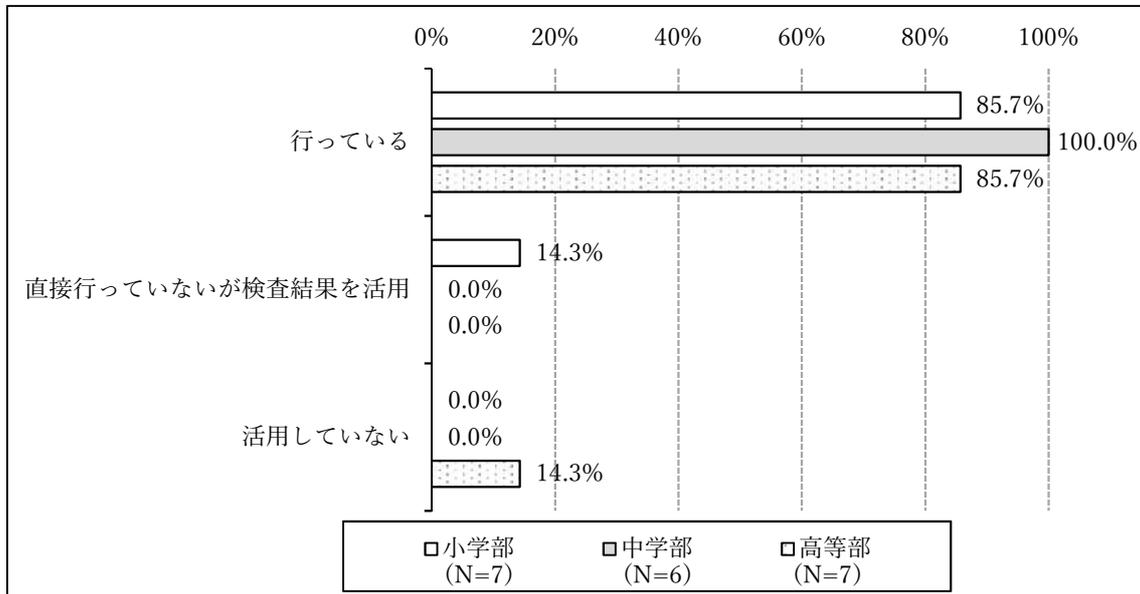


(その他)

- ・発達検査の結果(小学部)
- ・保護者からの聞き取りや前任校の担任からの引き継ぎは行いますが、発達検査等の結果で関わっているわけではないので、専門的な判断の元、把握して関わりが持てているわけではありません。(高等部)
- ・引き継ぎ資料 (高等部)

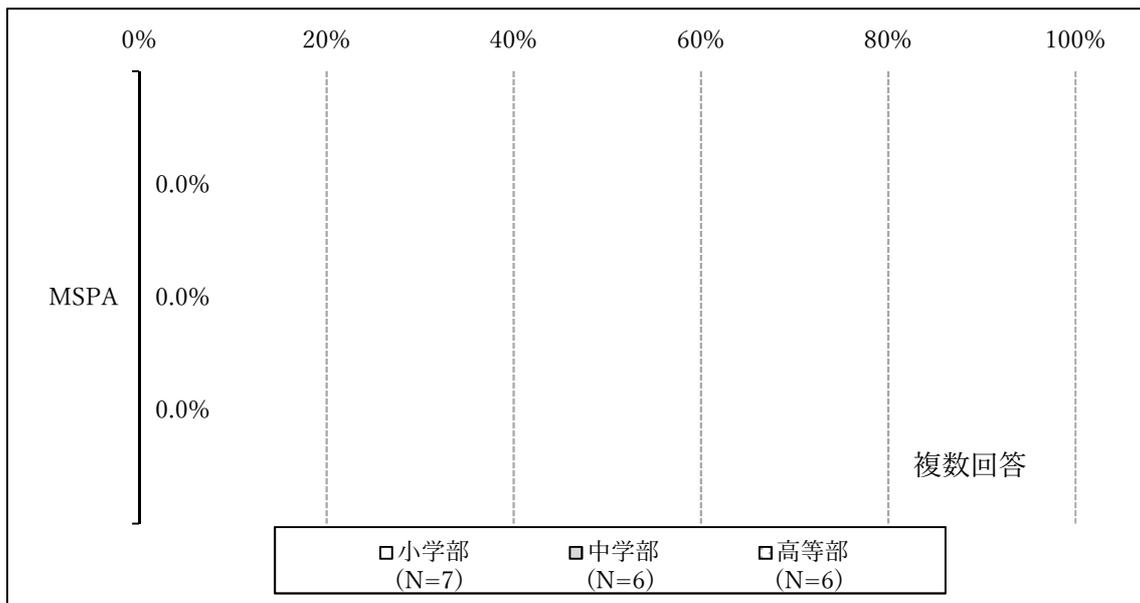
問5 貴校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒について心理学的な検査を行い、支援に活用していますか。

心理学的な検査を行い、支援に活用しているかについては、「行っている」が最も多くなっている。

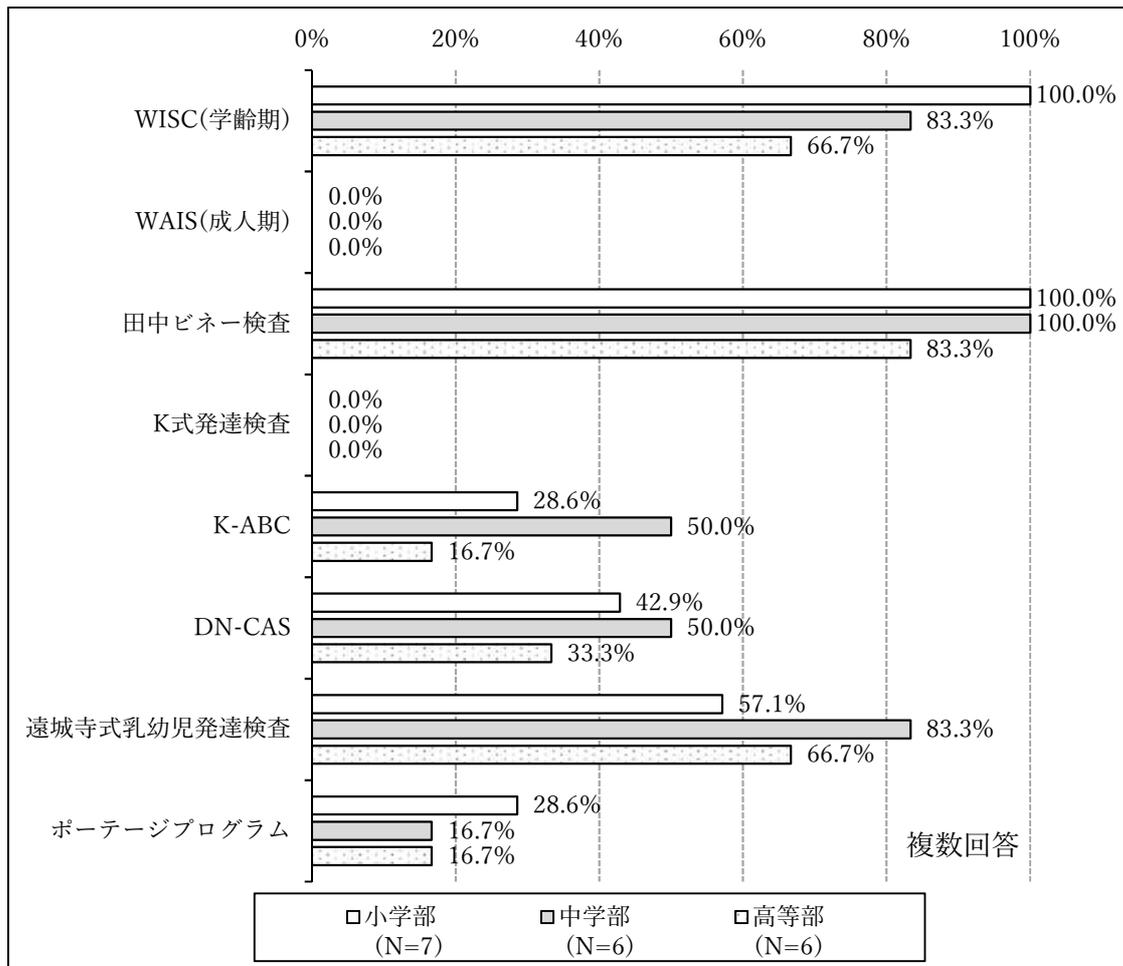


副問5-1 問5で「行っている」「直接行っていないが検査結果を活用している」と答えた方におたずねします。どのような検査を活用していますか。当てはまるものをすべて選んでください。

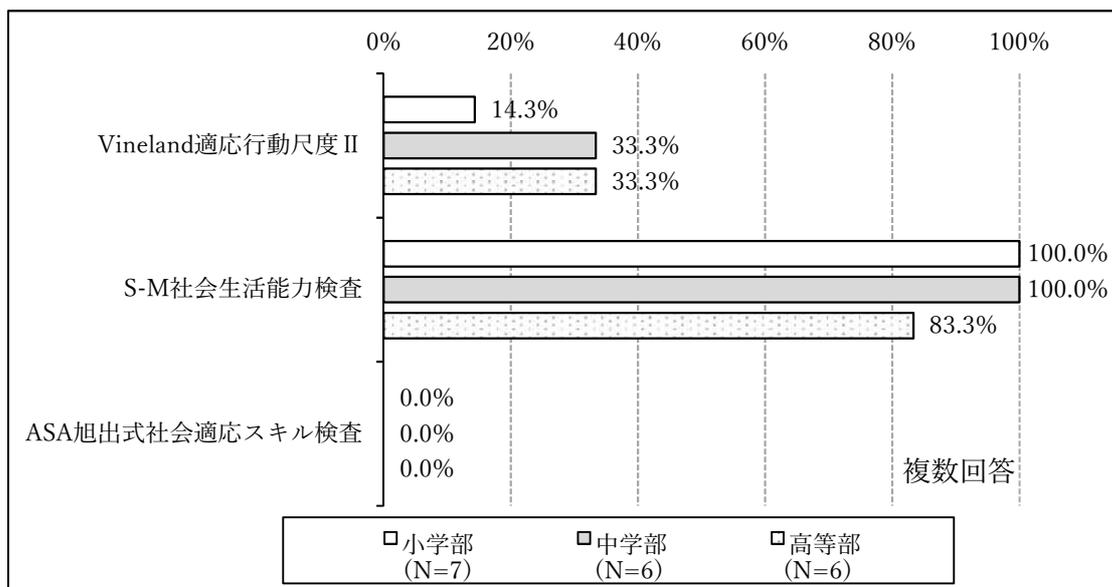
① 日常生活における困難と要支援度の評価



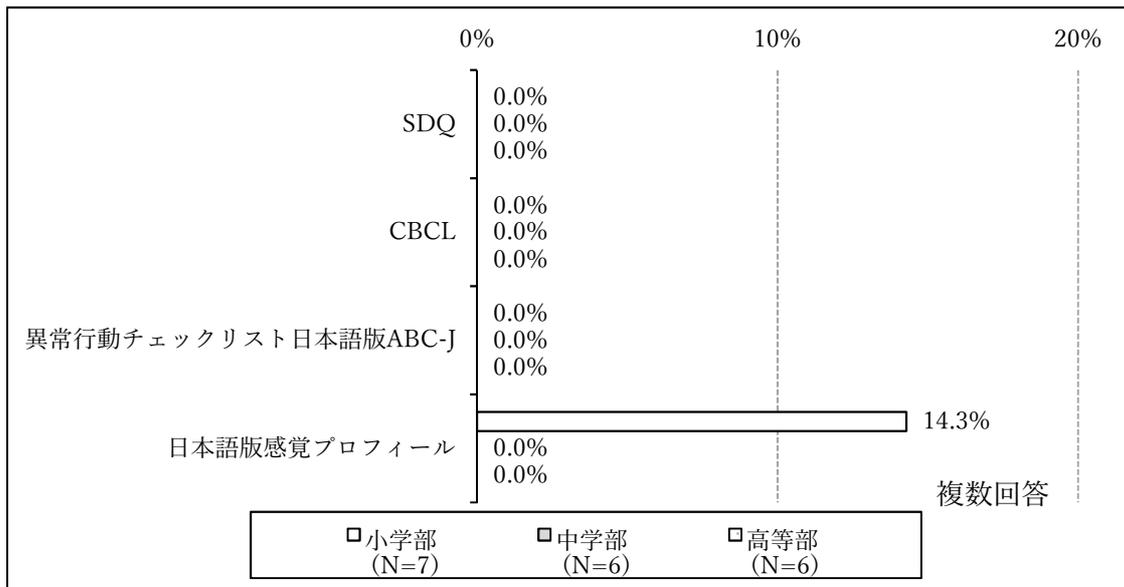
② 知能検査・発達検査



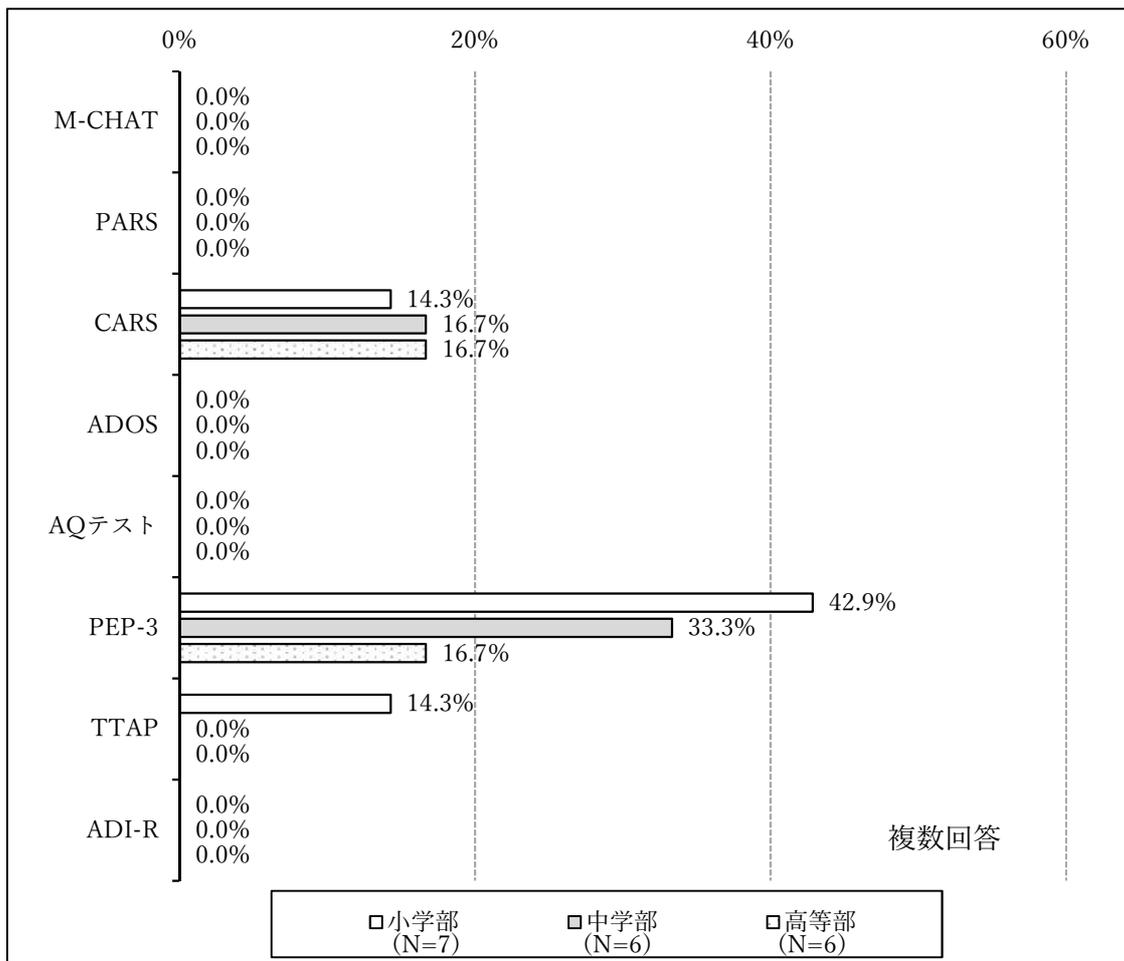
③ 適応行動（生活能力）のアセスメント



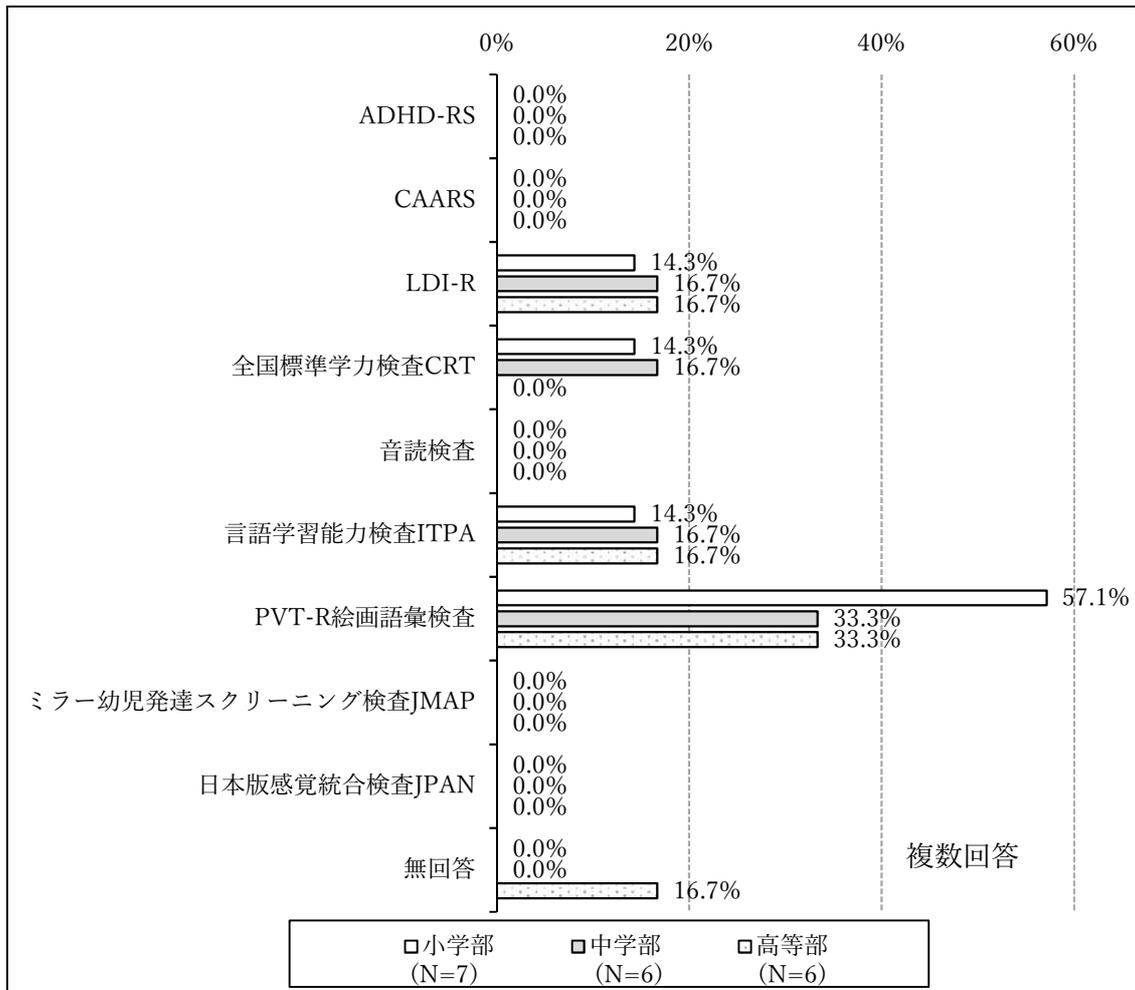
④ 情緒と行動のアセスメント



⑤ 自閉症スペクトラムのアセスメント



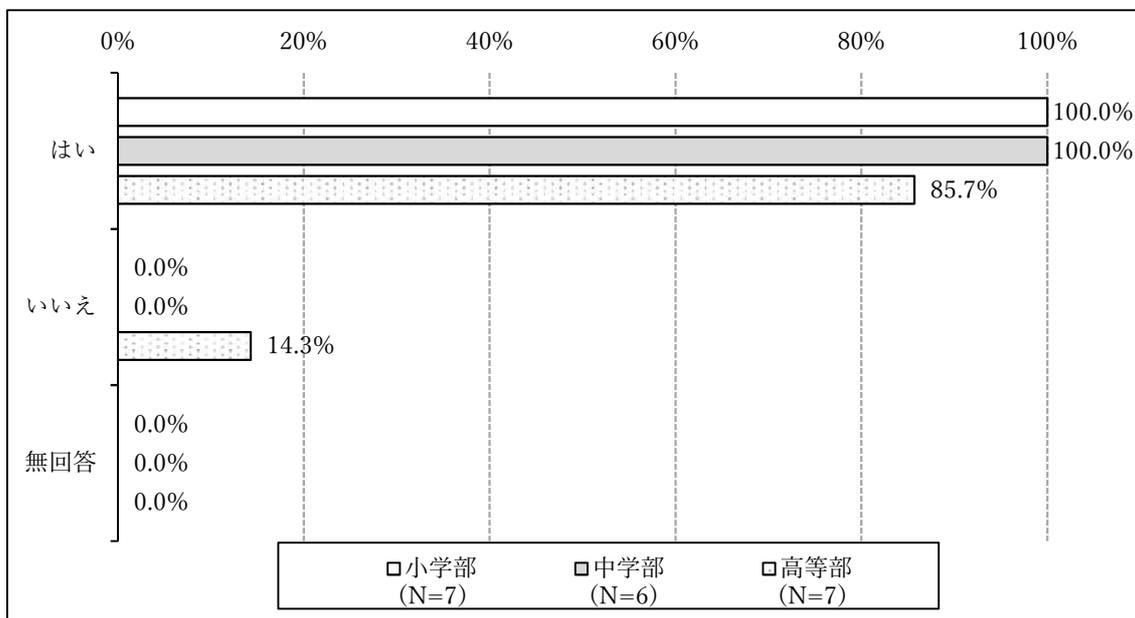
⑥ その他のアセスメント



【D 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その② 日常生活について)】

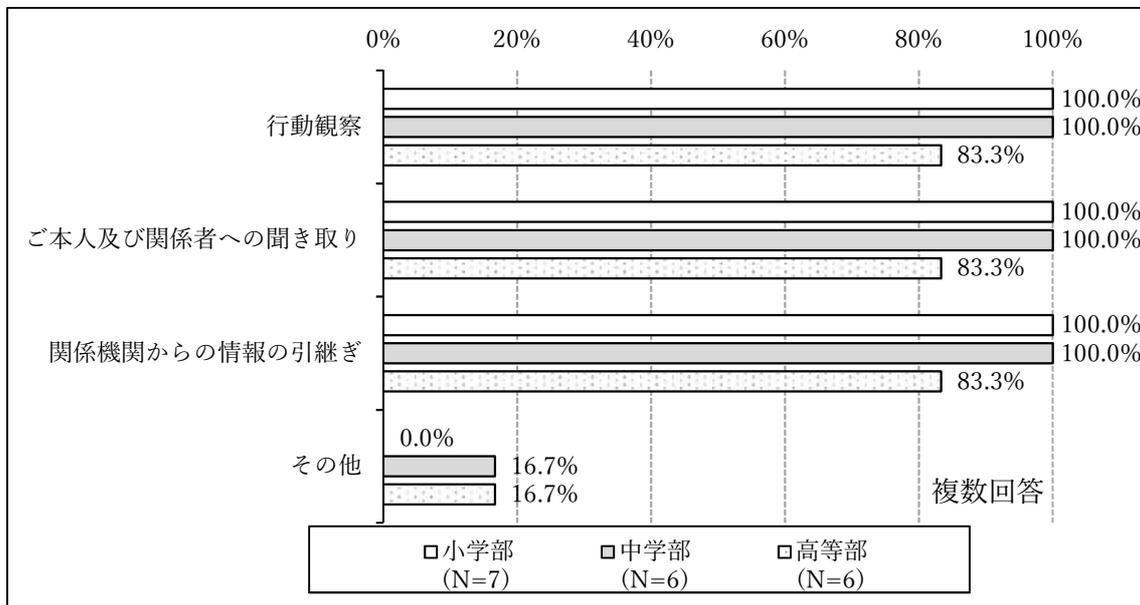
問 6 貴校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒が日常生活を送る上で、特別に配慮が必要な障害特性について、具体的に把握していますか。

障害特性を把握しているかについては、「はい」が多くなっている。



副問6-1 問6で「はい」と答えた方におたずねします。どのように障害特性を把握していますか。当てはまるものをすべて選んでください。

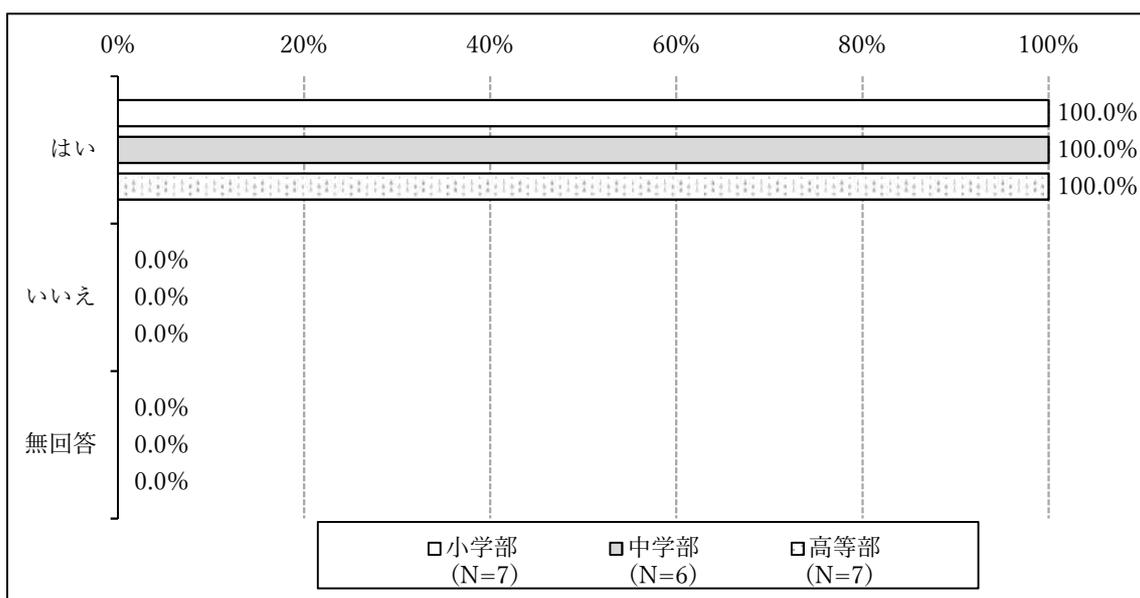
どのように障害特性を把握しているかについては、「行動観察」、「ご本人及び関係者への聞き取り」、「関係機関からの情報の引継ぎ」とも多くなっている。



(その他) 校内でのアセスメント (中学部)、引き継ぎ資料 (高等部)

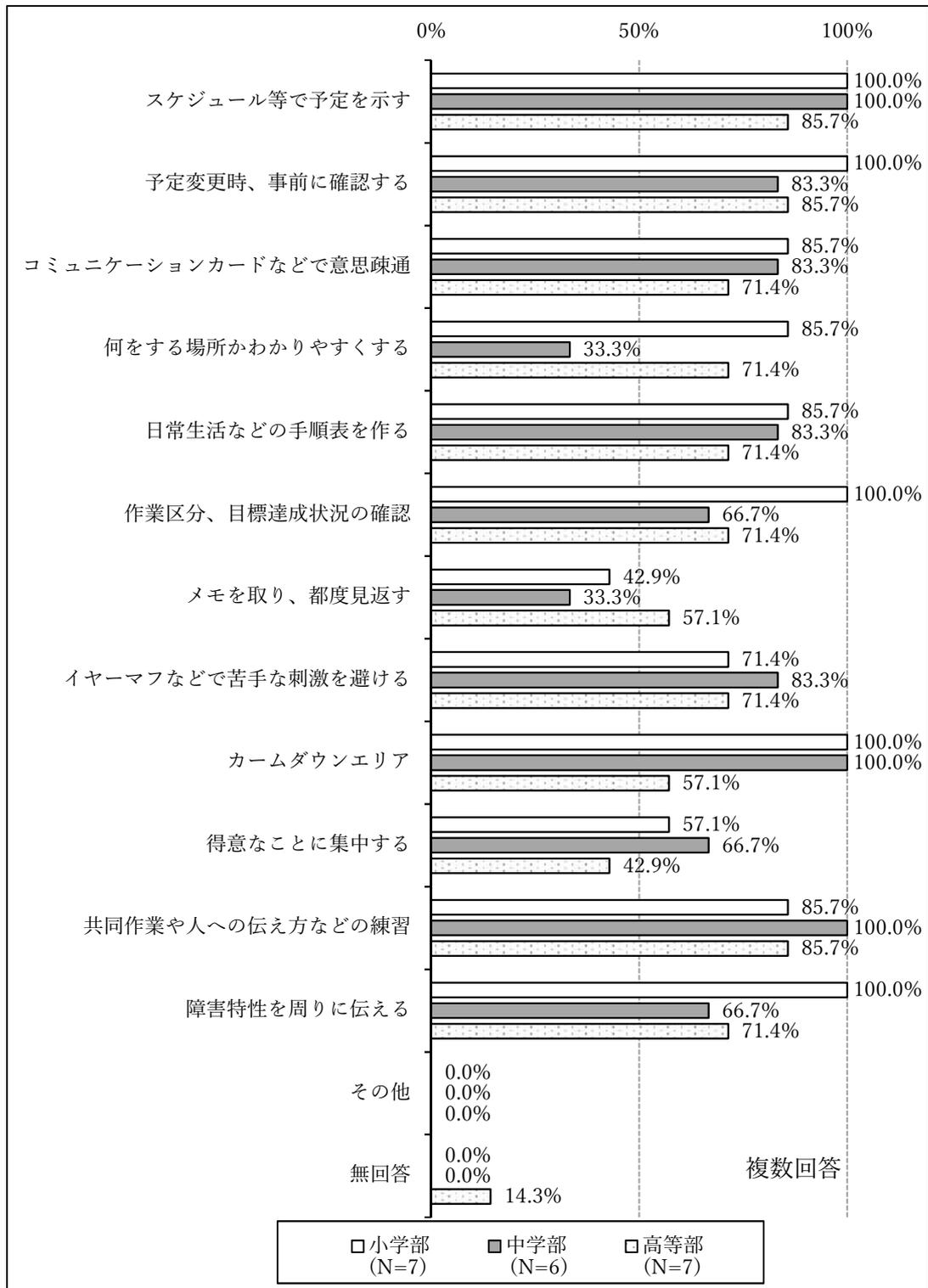
問7 貴校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒が日常生活を送る上で、特別に配慮が必要な障害特性に対して、何らかの「手立て」を行っていますか。

何らかの「手立て」を行っているかについては、全て「はい」となっている。



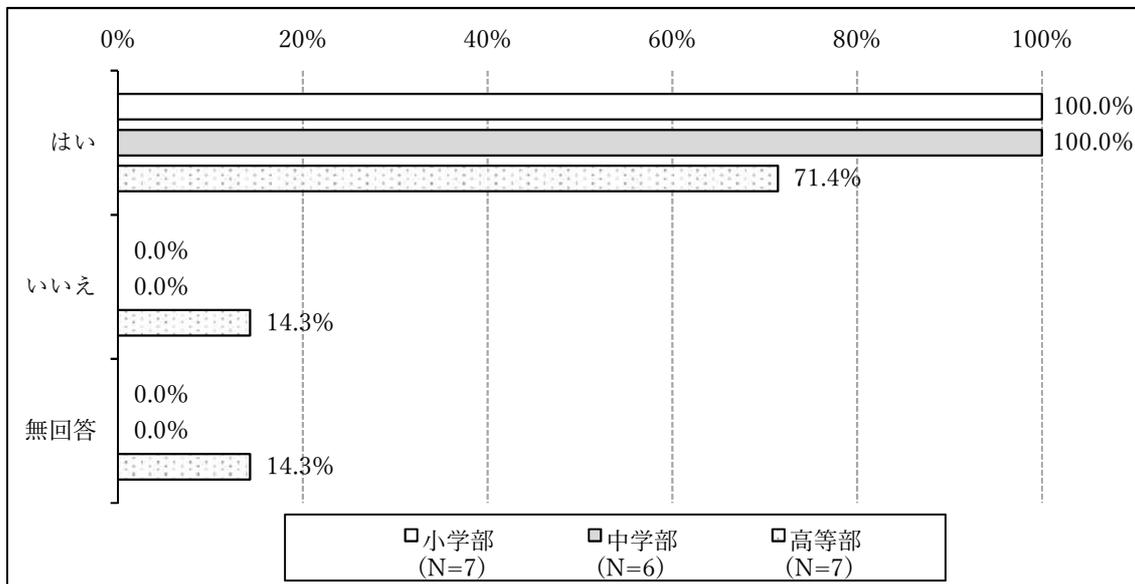
副問7-1 問7で「はい」と答えた方におたずねします。具体的にどのような「手立て」を講じていますか。該当するものをすべて選んでください。

どのような「手立て」を講じているかについては、「スケジュール等で予定を示す」、「予定変更時、事前に確認する」、「共同作業や人への伝え方などの練習」などが多くなっている。



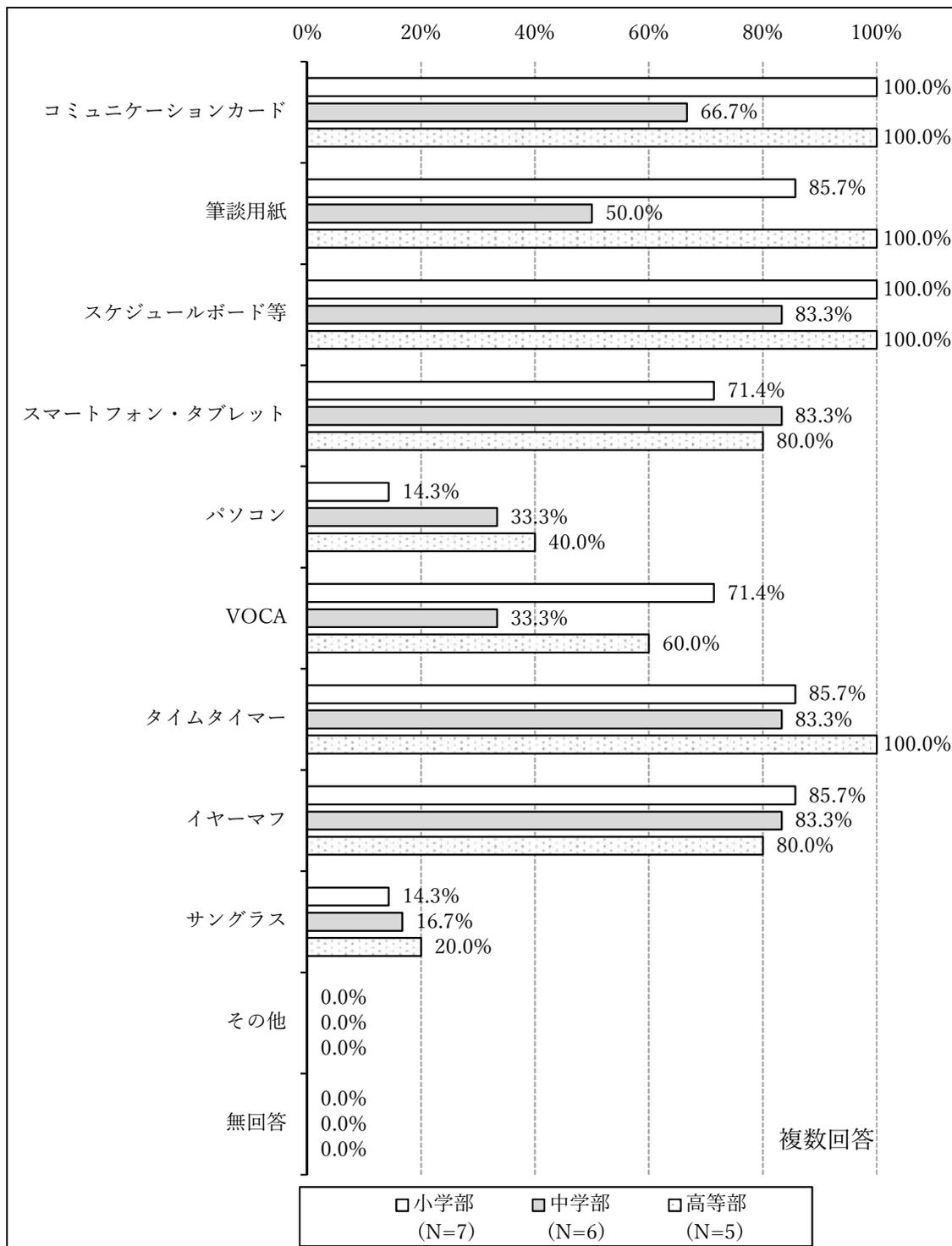
副問7-2 問7で「はい」と答えた方におたずねします。日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、ツール（道具や用紙など）を使っていますか。

ツールを使っているかについては、「はい」が多くなっている。



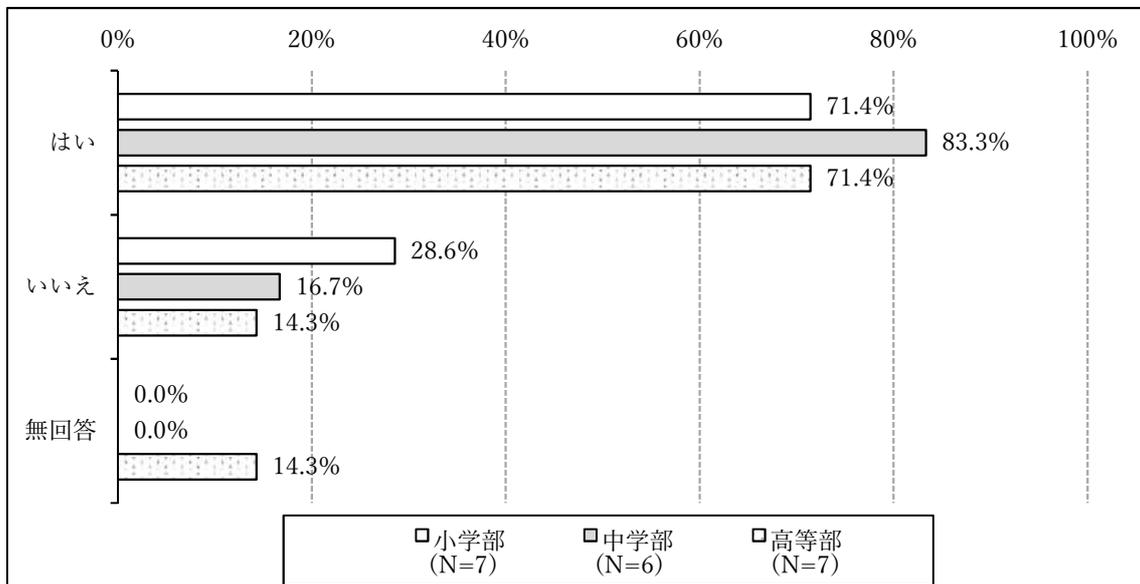
副問7-2-1 副問7-2で「はい」と答えた方におたずねします。主にどのようなツールを使っていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

どのようなツールを使っているかについては、「スケジュールボード等」、「コミュニケーションカード」、「タイムタイマー」などが多くなっている。



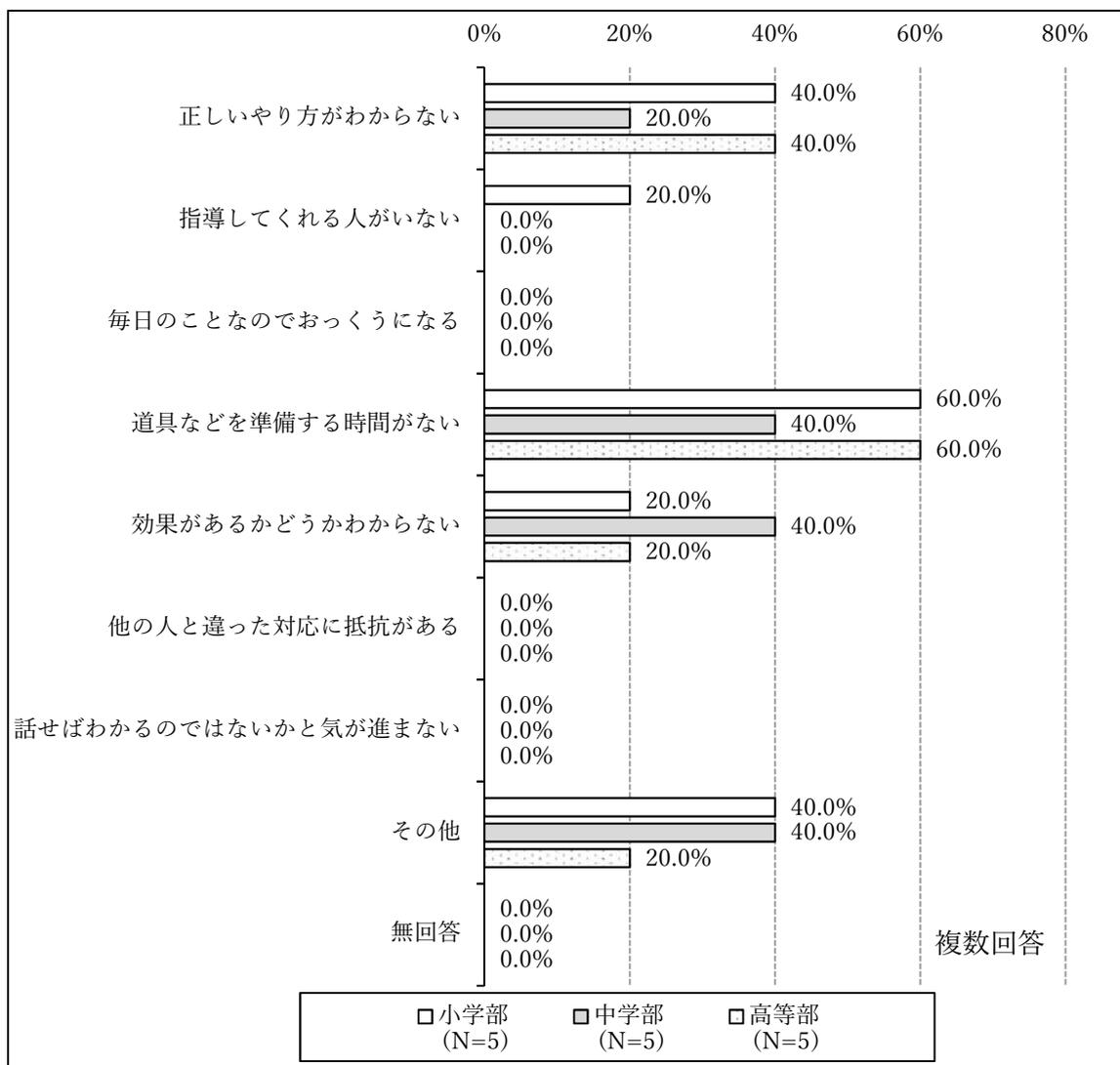
副問7-3 問7で「はい」と答えた方におたずねします。日常生活上の「手立て」を講じるうえで、難しいと感じることがありますか。

難しいと感じることがあるかについては、「はい」が多くなっている。



副問7-3-1 副問7-3で「はい」と答えた方におたずねします。どのようなことに難しさを感じますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

どのようなことに難しさを感じるかについては、「道具などを準備する時間がない」、「正しいやり方がわからない」、「効果があるかどうかわからない」などが多くなっている。



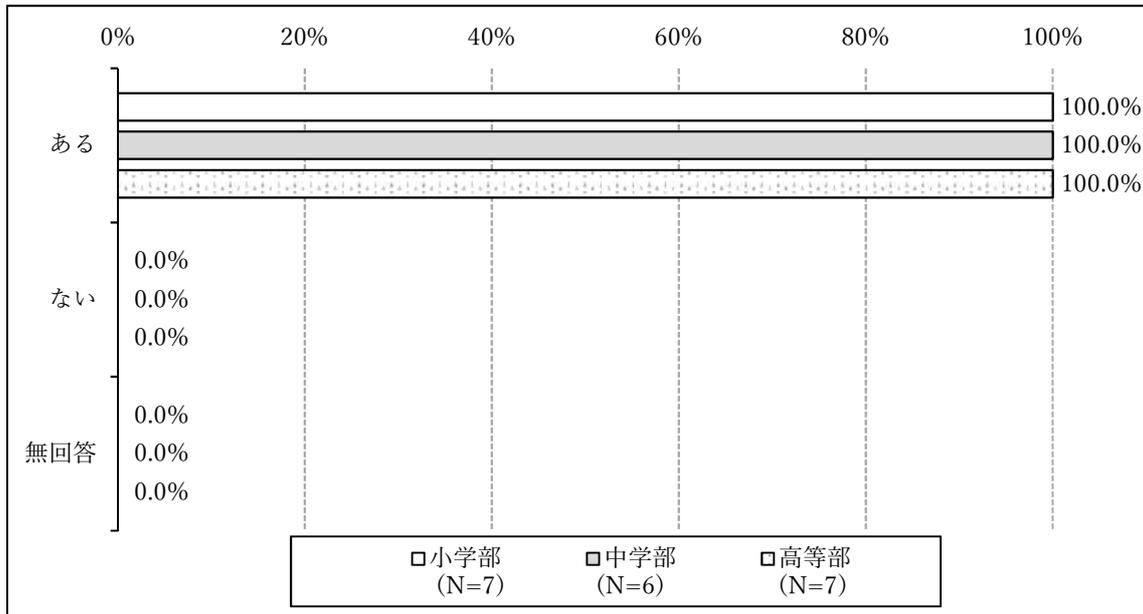
(その他)

- ・支援者が活用する際、微妙な違いが出てしまうこと。(小学部・中学部・高等部) (3)
- ・コーディネーターとして担任に手立ては伝えるが、担任の専門性によって、本人の特性に合わせた支援に繋がる場合とそうでない場合がある。(小学部)
- ・見通しをもたせるように細かく視覚支援を作ろうとすると使い回しができないことが多く準備が煩雑になり手が回らない。(中学部)

【D 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その③ 支援体制について)】

問8 貴校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒が日常生活を送るうえで必要な「手立て」について、医療・福祉・教育・雇用(労働)など関係機関と連携して取り組んだことがありますか。

関係機関と連携して取り組んだことがあるかについては、全て「ある」となっている。

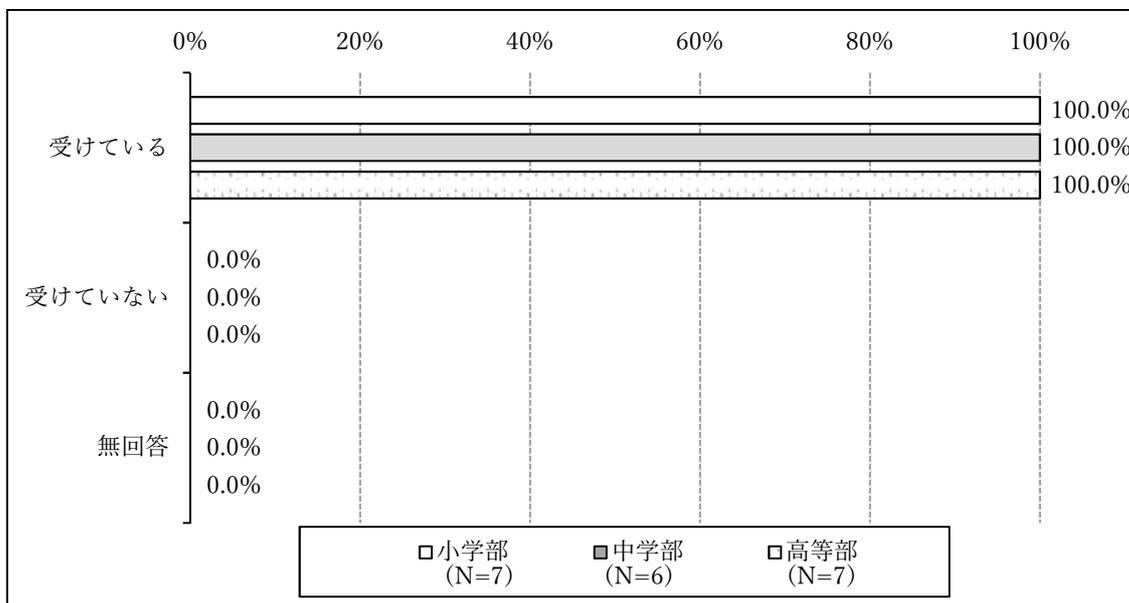


副問8-1 問8で「ない」と答えた方におたずねします。今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んでください。

問8で「ない」と答えた方は、0となっている。

問9 専門機関（病院、発達障害者支援センターつばさ、障害者基幹相談支援センター、子ども総合センター等）から、助言や指導を受けていますか。

助言や指導を受けているかについては、全て「受けている」となっている。

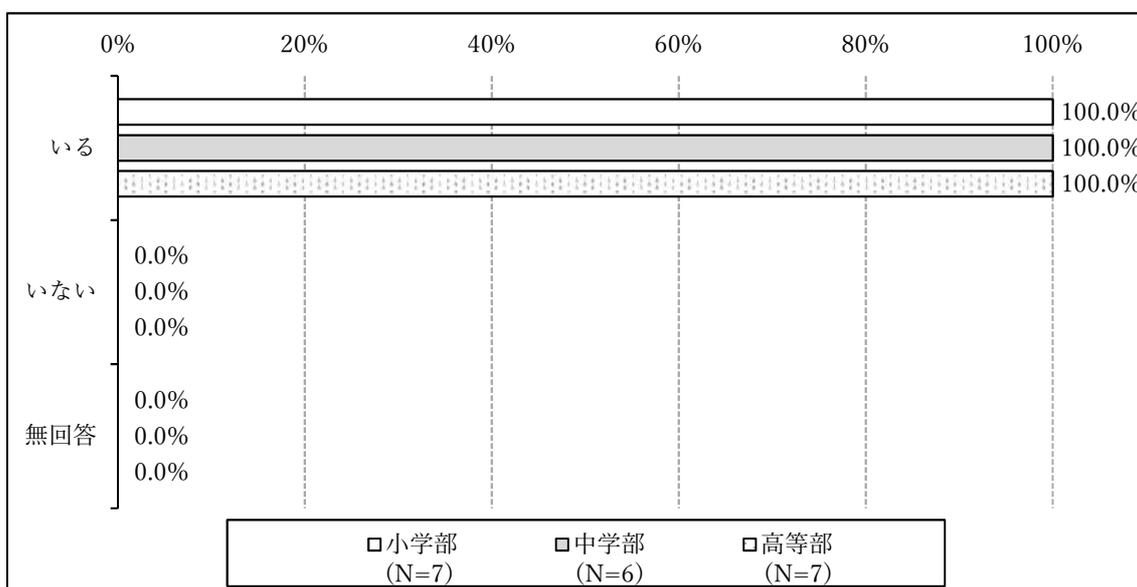


副問9-1 問9で「受けていない」と答えた方におたずねします。今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んでください。

問9で「受けていない」と答えた方は、0となっている。

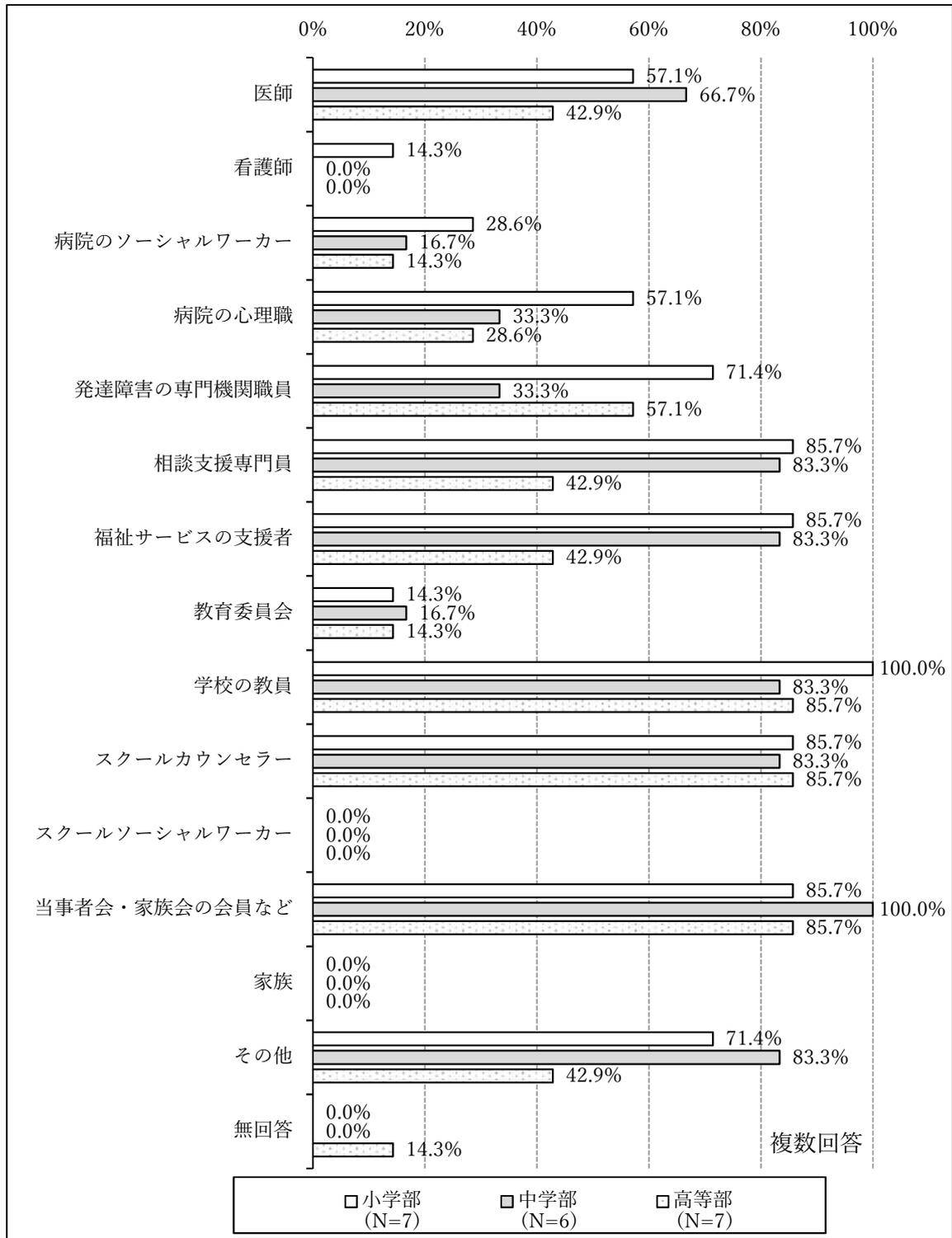
問10 発達障害もしくはその可能性のある児童生徒を支援する上で、困ったときに頼れる相談相手はいますか。

頼れる相談相手がいるかについては、全て「いる」となっている。



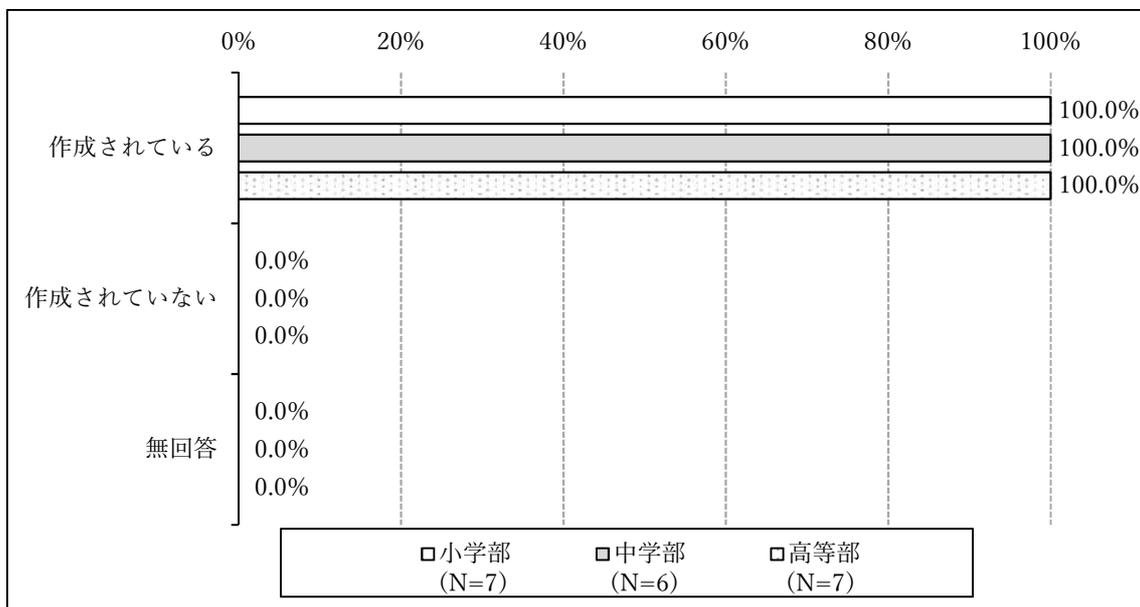
副問10-1 問10で「いる」と答えた方におたずねします。主な相談相手は誰ですか。  
該当するものをすべて選んでください。

相談相手については、「学校の教員」、「当事者会・家族会の会員など」、「スクールカウンセラー」などが多くなっている。



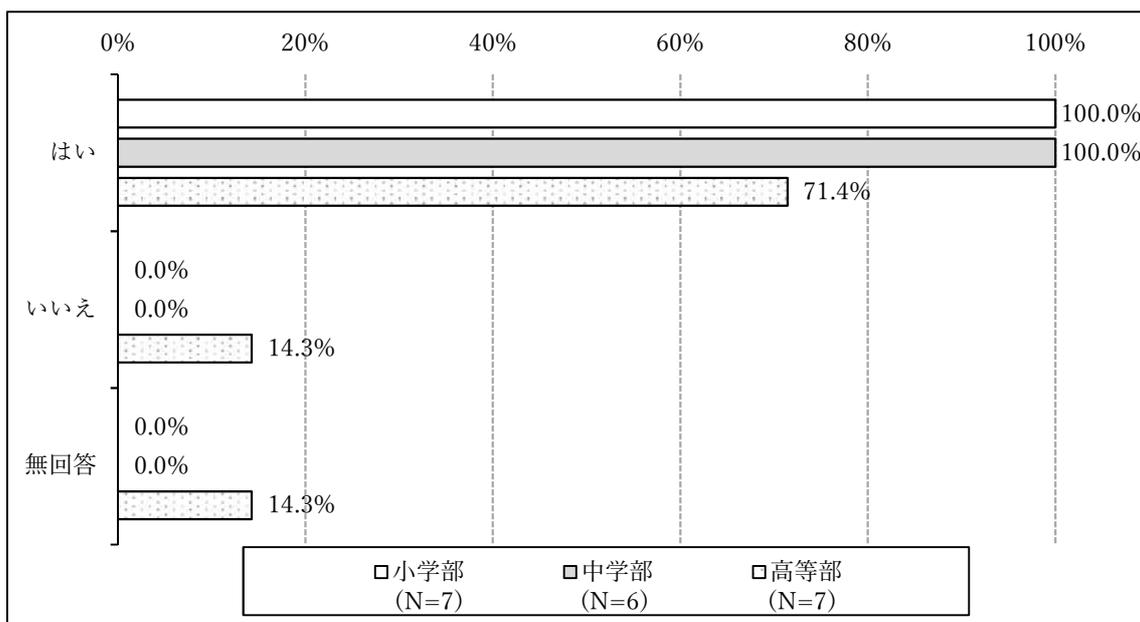
問 1 1 貴校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒を支援するための個別の教育支援計画は作成されていますか。

教育支援計画を作成しているかについては、全て「作成されている」となっている。



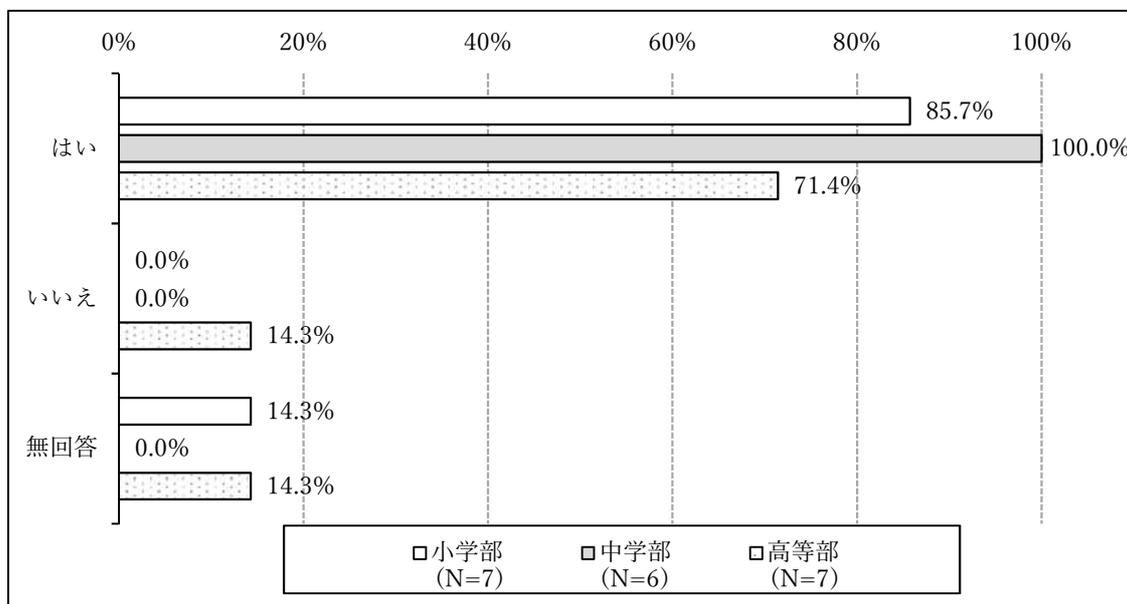
副問 1 1 - 1 問 1 1 で「作成されている」と答えた方におたずねします。作成された計画について、定期的に取り組みの結果を振り返り、その成果や課題を踏まえて内容の見直しが行なわれていますか。(PDCA サイクル)

成果や課題を踏まえて内容の見直しをしているかについては、「はい」が多くなっている。



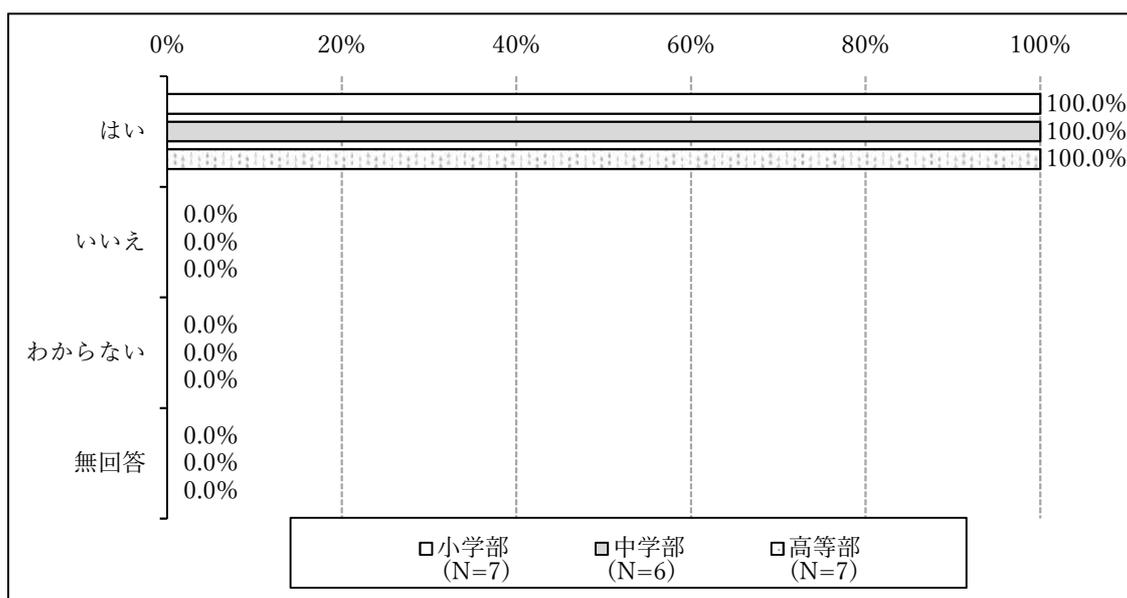
副問 1 1-2 問 1 1 で「作成されている」と答えた方におたずねします。ご本人（発達障害もしくはその可能性がある児童生徒）やそのご家族は、ご自身の支援計画の作成やその見直し（PDCA サイクル）作業に参加して、意見や要望を直接伝えてありますか。

意見や要望を直接伝えているかについては、「はい」が多くなっている。



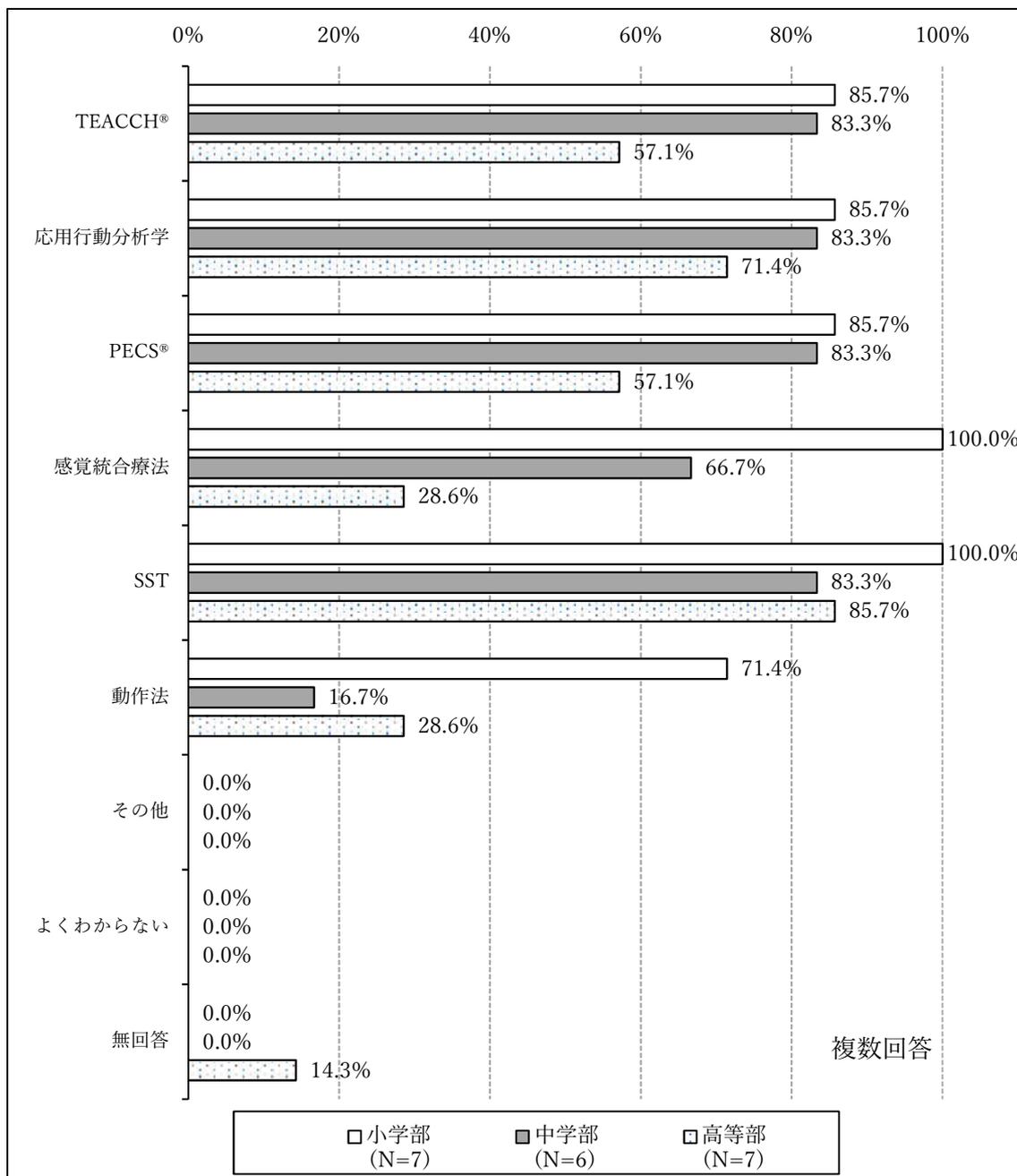
問 1 2 貴校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒の支援に専門的な手法を取り入れていますか。

専門的な手法を取り入れているかについては、全て「はい」となっている。



副問12-1 問12で「はい」と答えた方におたずねします。どのような手法を取り入れていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

どのような手法を取り入れているかについては、「SST」、「応用行動分析学」、「TEACCH®」などが多くなっている。



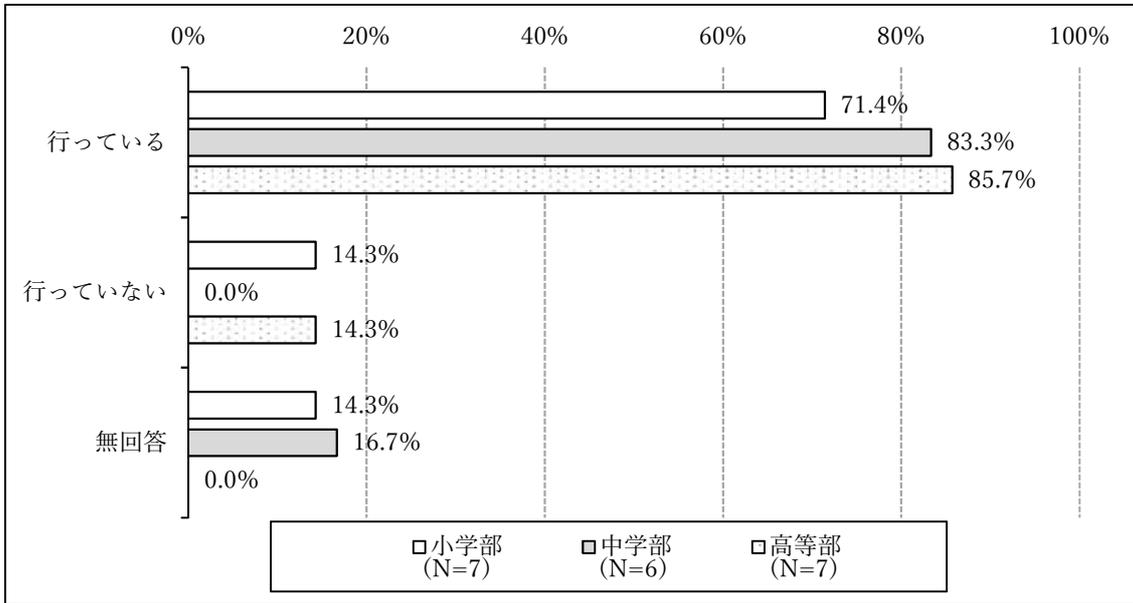
副問12-2 問12で「いいえ」と答えた方におたずねします。今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んでください。

問12で「いいえ」と答えた方は、0となっている。

【E 強度行動障害のある児童生徒への支援について伺います（その① 日頃の対応について）】

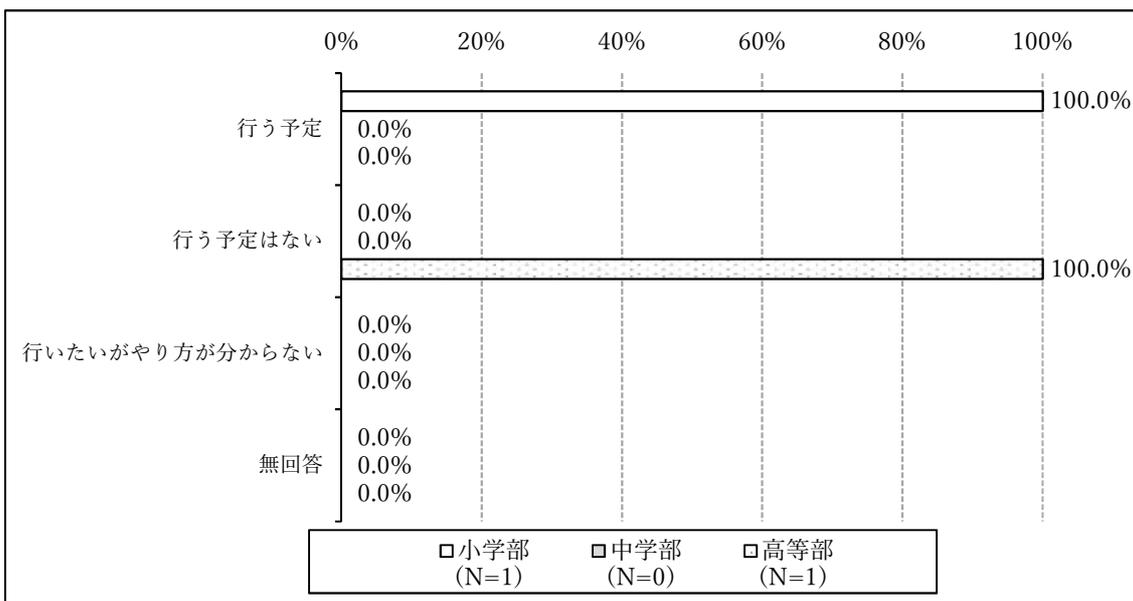
問13 貴校では、強度行動障害のある児童生徒への支援を行っていますか。

強度行動障害のある児童生徒への支援を行っているかについては、「行っている」が多くなっている。



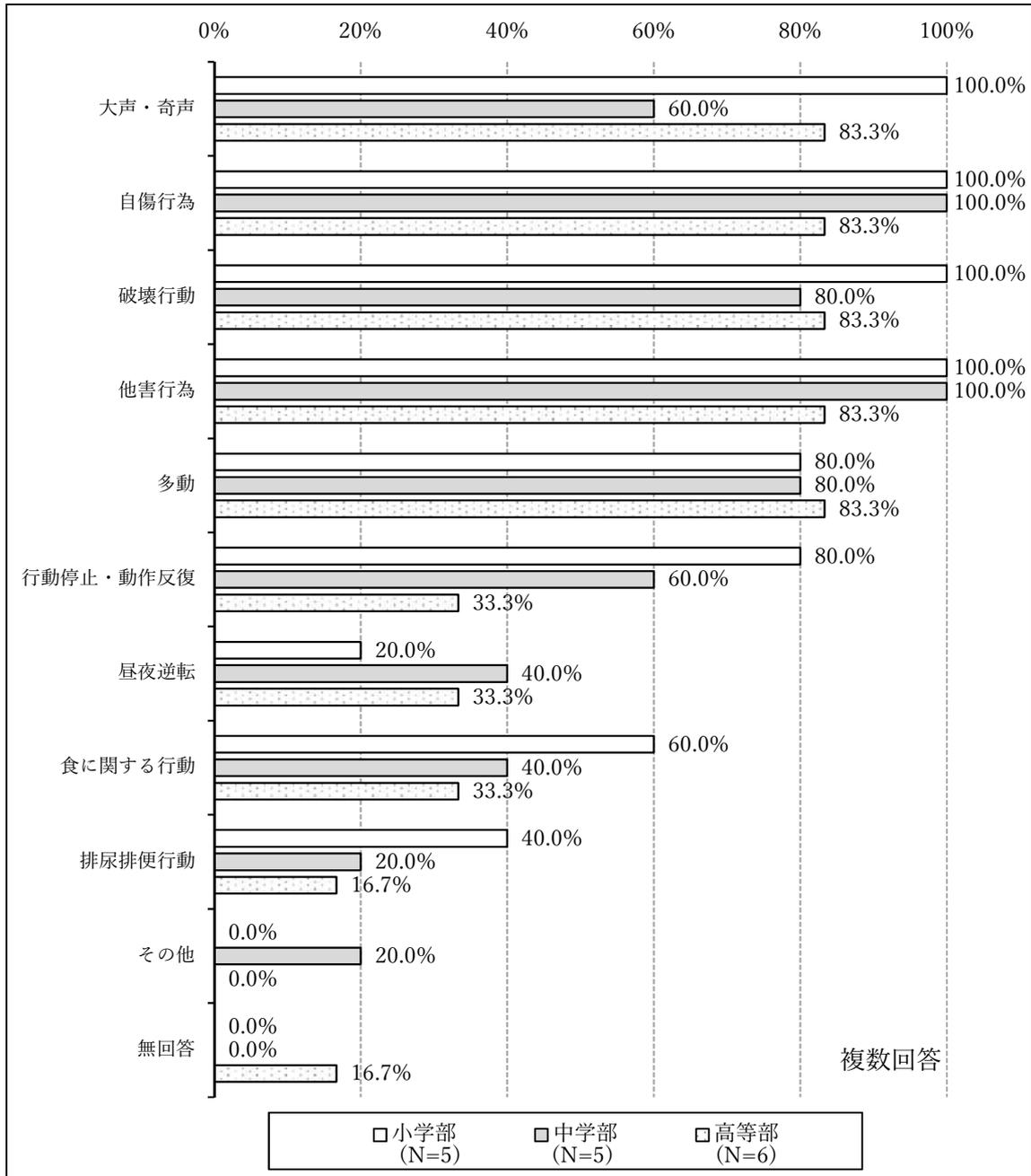
副問13-1 問13で「支援を行っていない」と答えた方におたずねします。今後、支援を行う予定はありますか。

今後、支援を行う予定があるかについては、「行う予定」と「行う予定はない」が同数となっている。



問14 貴校では、強度行動障害のある人を支援するにあたり、障害特性があるために起きる行動で困っていることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

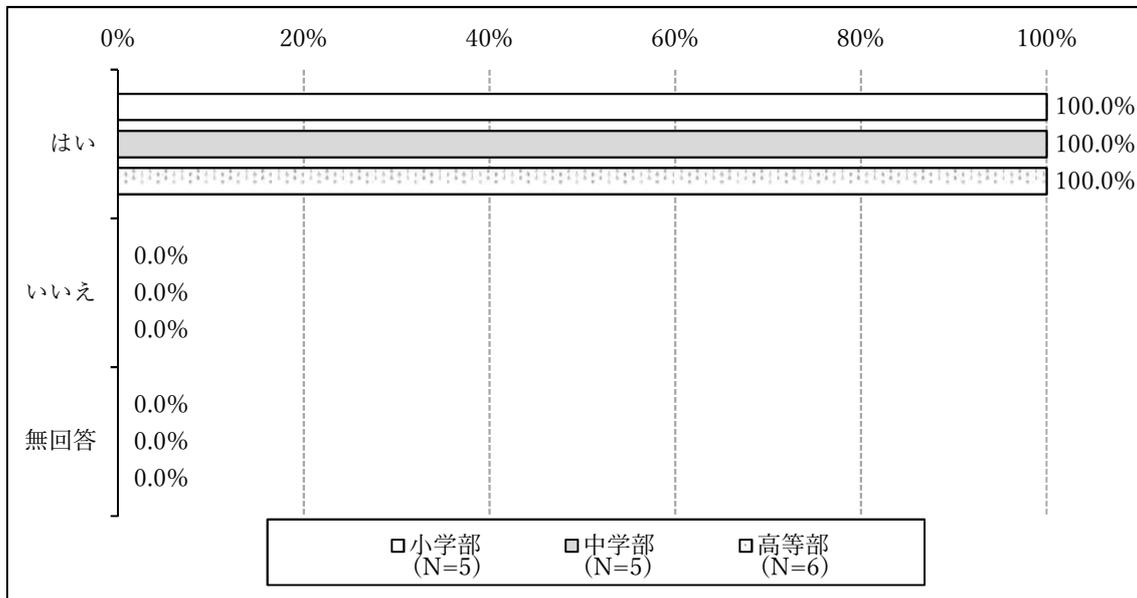
行動で困っていることについては、「自傷行為」、「他害行為」、「破壊行動」などが多くなっている。



(その他) 飛び出し (中学部)

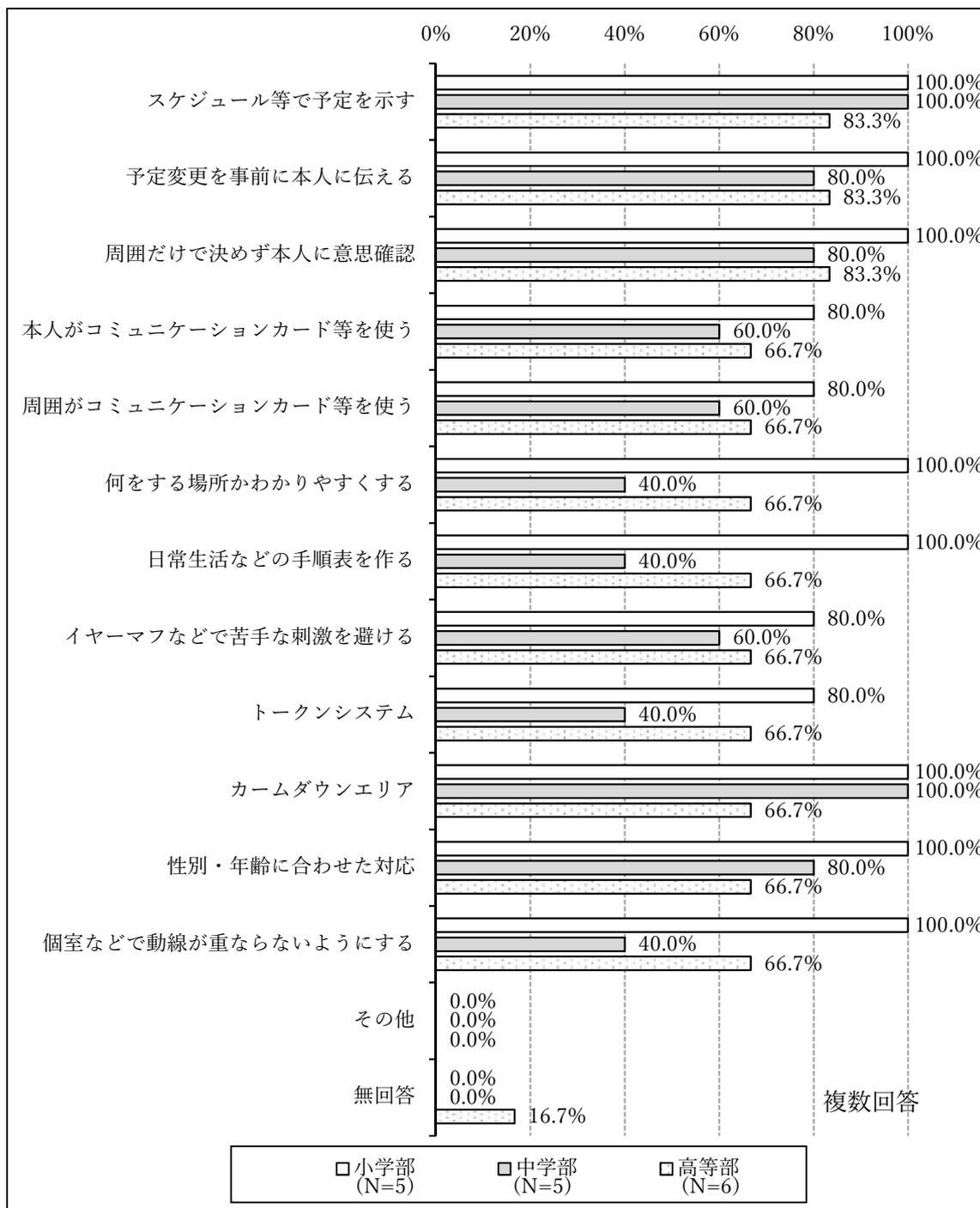
問 1 5 貴校では、強度行動障害のある人の日常生活を支えるために、特別に配慮が必要な障害特性に対して何らかの「手立て」を行っていますか。

何らかの「手立て」を行っているかについては、全て「はい」となっている。



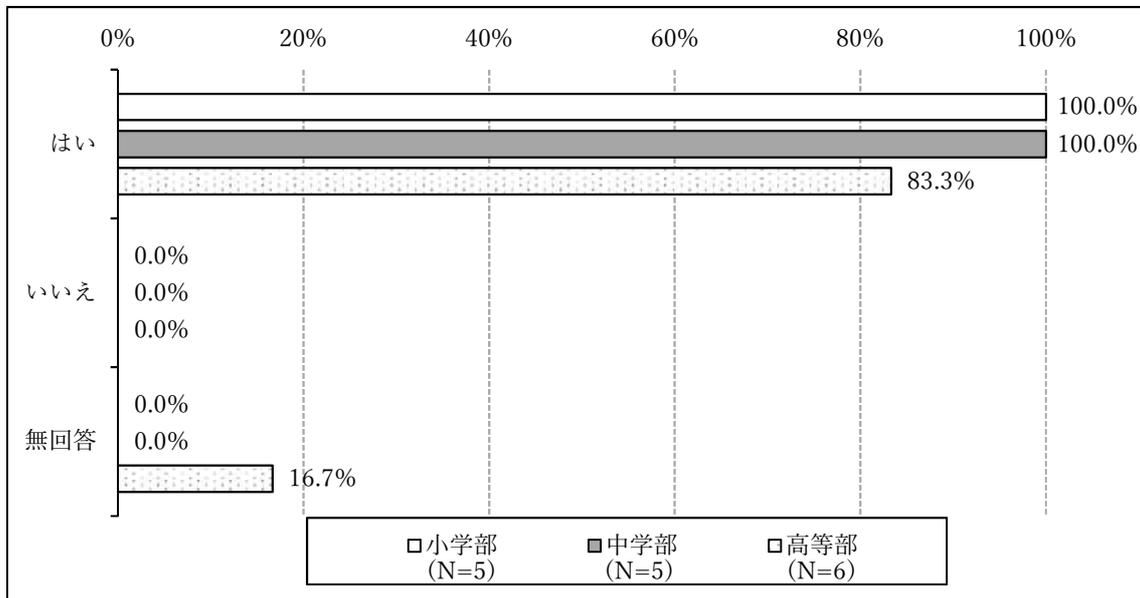
副問15-1 問15で「はい」と答えた方におたずねします。具体的にどのような「手立て」を講じていますか。該当するものをすべて選んでください。

どのような「手立て」を講じているかについては、「スケジュール等で予定を示す」、「予定変更を事前に本人に伝える」、「周囲だけで決めず本人に意思確認」などが多くなっている。



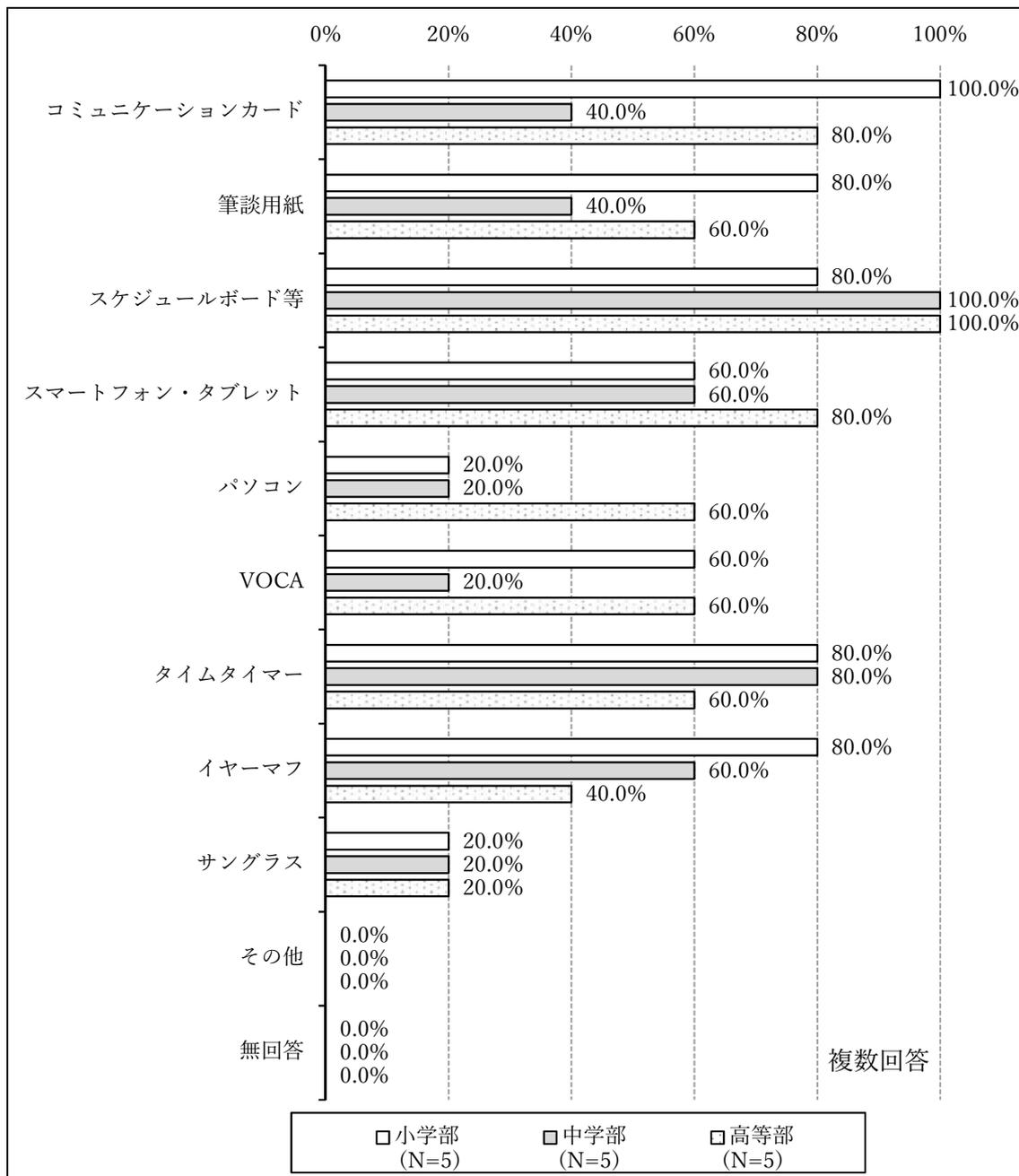
副問15-2 問15で「はい」と答えた方におたずねします。日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、ツール（道具や用紙など）を使っていますか。

ツールを使っているかについては、「はい」が多くなっている。



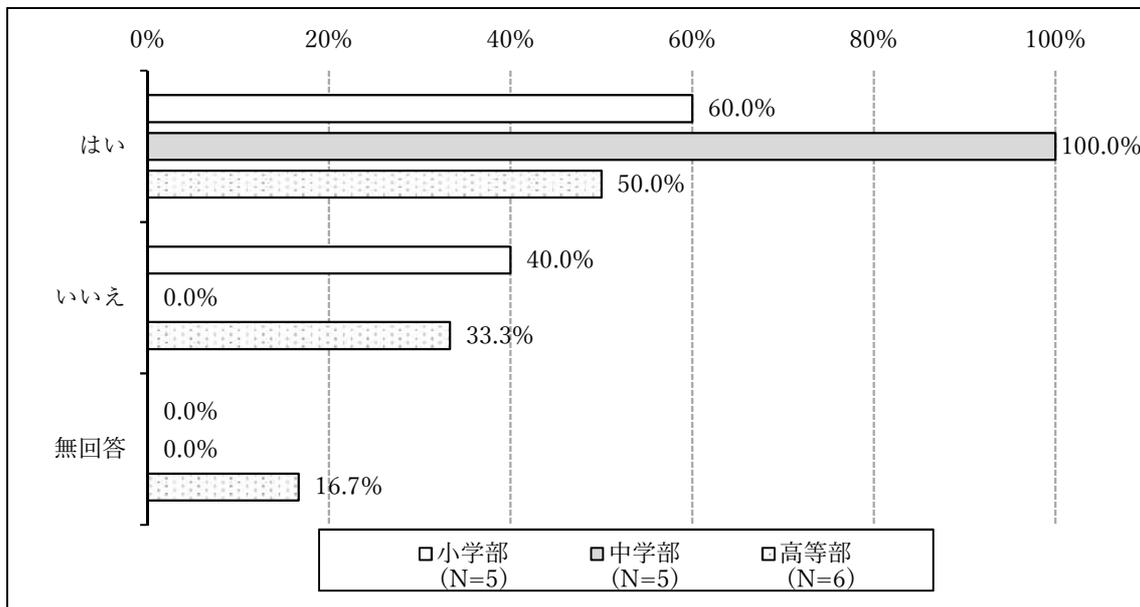
副問15-2-1 副問15-2で「はい」と答えた方におたずねします。主にどのようなツールを使っていますか。ご本人と一緒に使うもの、またはご本人が自分で使うものについて、当てはまるものをすべて選んでください。

どのようなツールを使っているかについては、「スケジュールボード等」、「コミュニケーションカード」、「タイムタイマー」などが多くなっている。



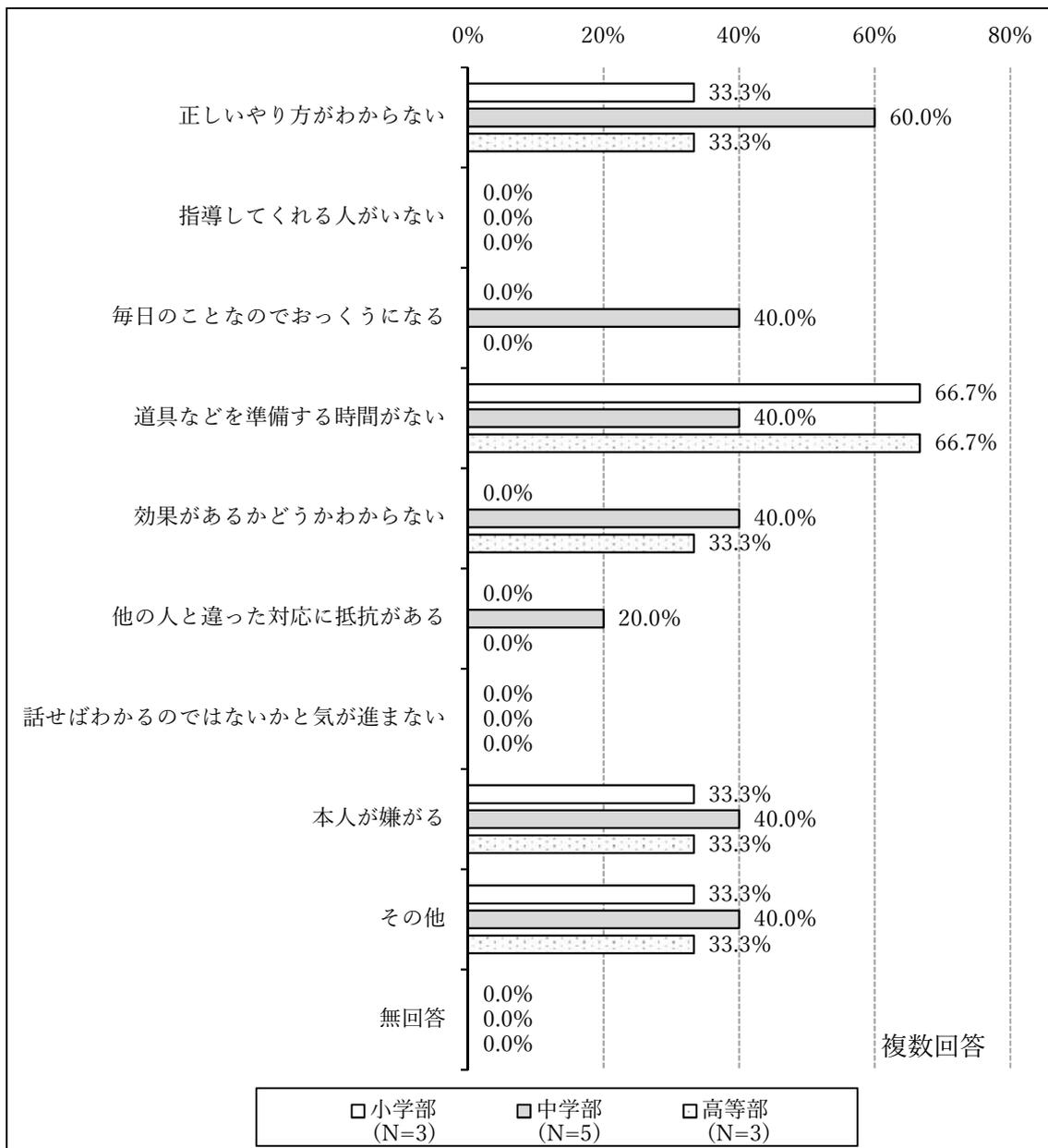
副問15-3 問15で「はい」と答えた方におたずねします。日常生活上の「手立て」を講じるうえで、難しいと感じることがありますか。

難しいと感じることがあるかについては、「はい」が多くなっている。



副問15-3-1 副問15-3で「はい」と答えた方におたずねします。どのようなことに難しさを感じますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

どのようなことに難しさを感じるかについては、「道具などを準備する時間がない」、「正しいやり方がわからない」、「本人が嫌がる」などが多くなっている。



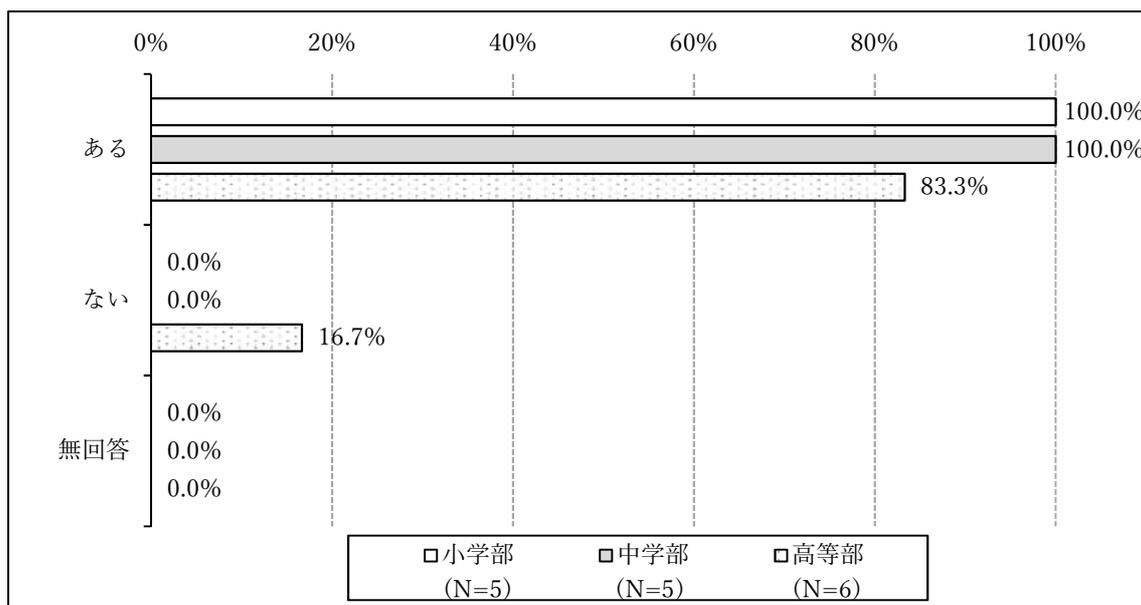
(その他)

- ・本人のその時の状態により、手立てが有効に働かない場合が多々ある。(小学部)
- ・担任の専門性によって、手立てが本人の行動改善につながる場合とそうでない場合がある。(小学部)
- ・講じた手立てが有効でない時(中学部)
- ・支援者によって対応に微妙な違いが出てしまう(中学部)
- ・本人の理解や用途に合わせたものを作成することが難しい。(高等部)

【E 強度行動障害のある人への支援について伺います (その② パニックへの対応について)】

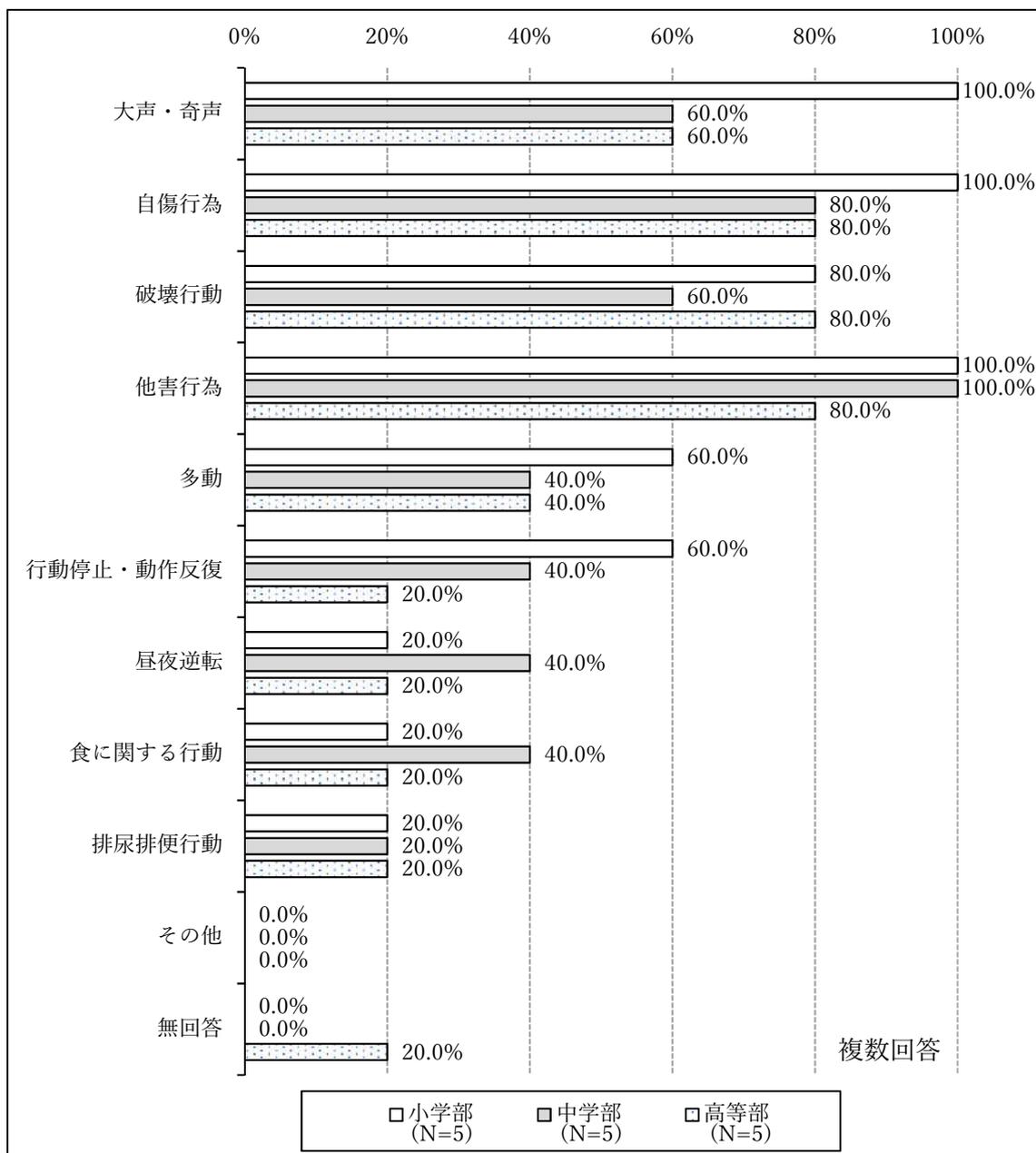
問16 強度行動障害のある人の状態が悪化して、危機的な状況(パニック)になったときのことを伺います。過去1年間に、ご本人が危機的な状況(パニック)になったことがありますか。

過去1年間に、危機的な状況(パニック)になったことがあるかについては、「ある」が多くなっている。



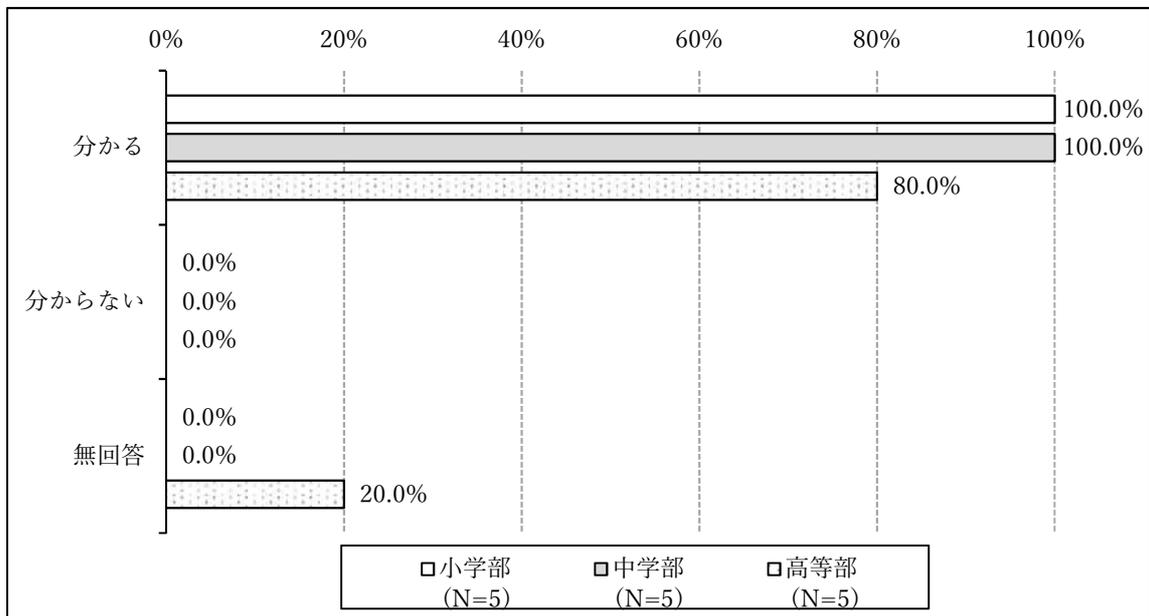
副問16-1 問16で「ある」と答えた方におたずねします。ご本人の状態が悪化したとき、具体的にどのような状態がより激しくなりましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

どのような状態がより激しくなったかについては、「他害行為」、「自傷行為」、「大声・奇声」などが多くなっている。



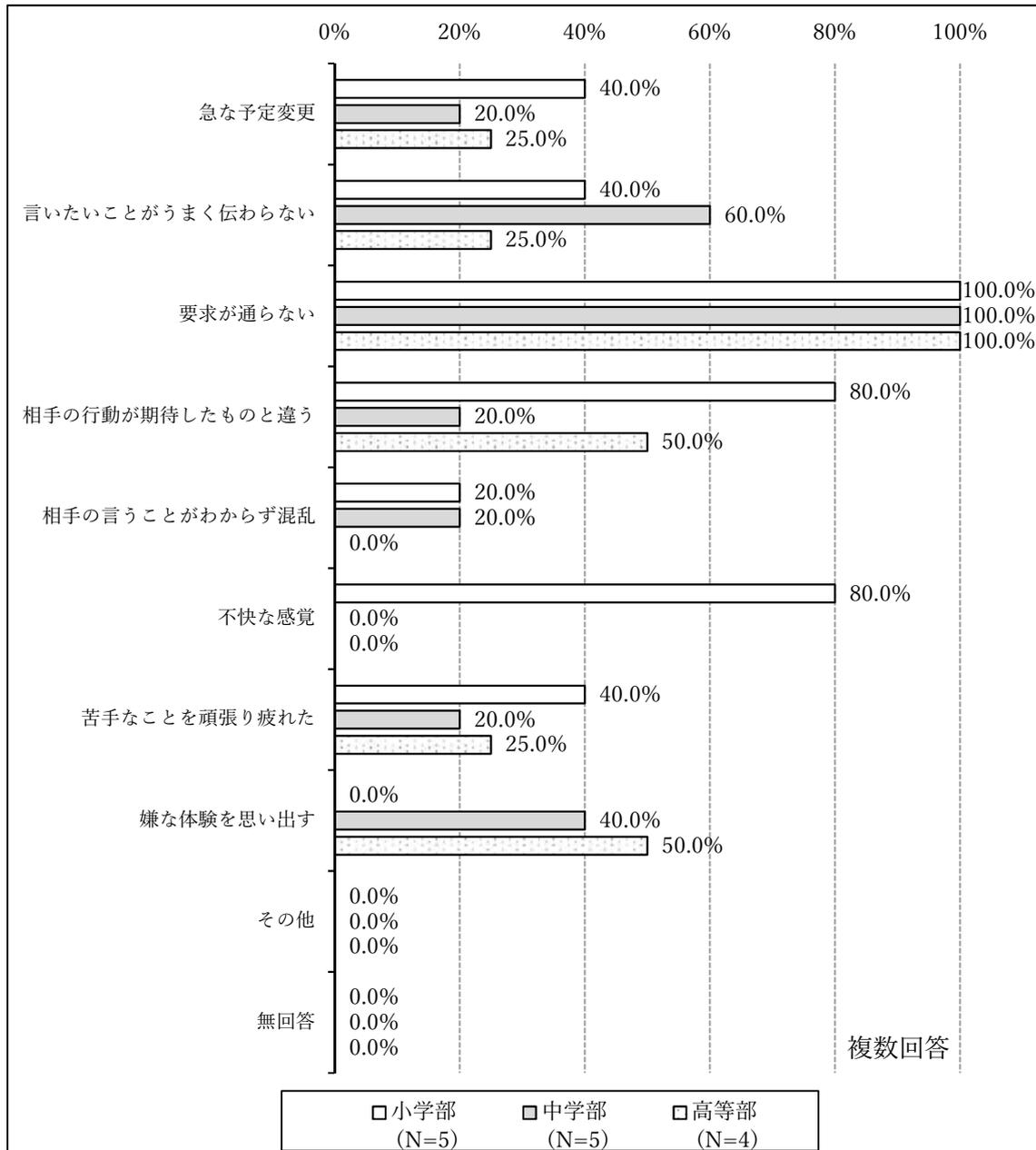
副問16-2 問16で「ある」と答えた方におたずねします。なぜそのような状態になったか、理由は分かりますか。

状態が悪化した理由については、「分かる」が多くなっている。



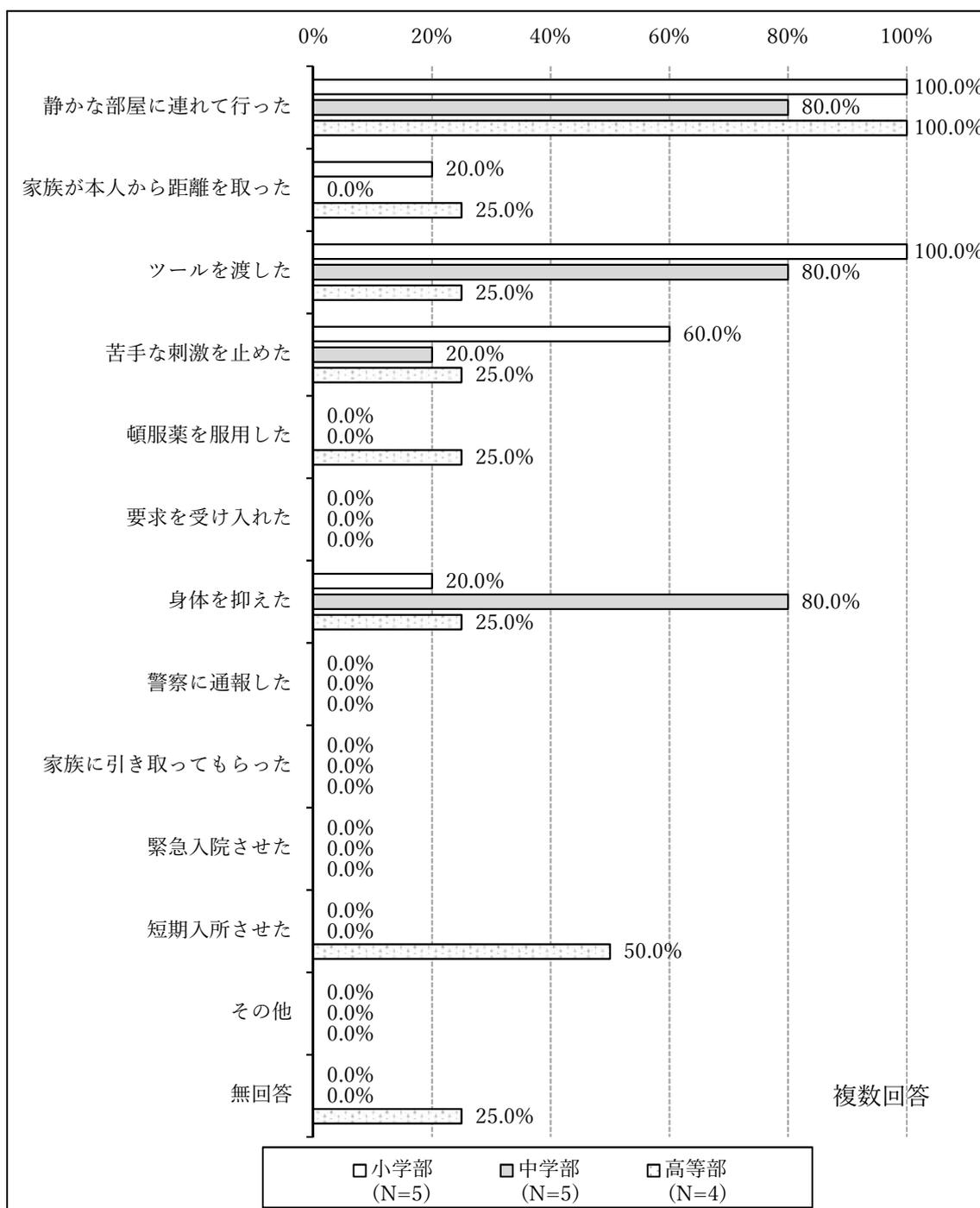
副問1 6-2-1 副問1 6-2で「分かる」と答えた方におたずねします。主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選んでください。

状態が悪化した主な理由については、「要求が通らない」、「相手の行動が期待したものと違う」、「言いたいことがうまく伝わらない」などが多くなっている。



副問16-3 問16で「ある」と答えた方におたずねします。ご本人の危機的な状況（パニック）は、どのようにして収まりましたか。該当するものを3つまで選んでください。

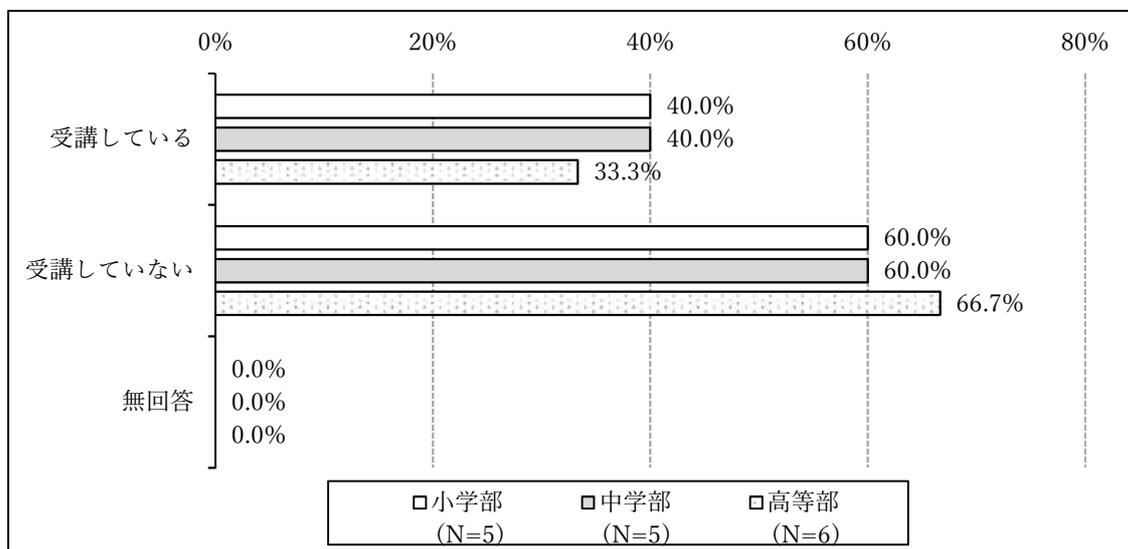
どのようにして収まったかについては、「静かな部屋に連れて行った」、「ツールを渡した」、「身体を抑えた」などが多くなっている。



【E 強度行動障害のある人への支援について伺います（その③ 人材育成について、今後の方向）】

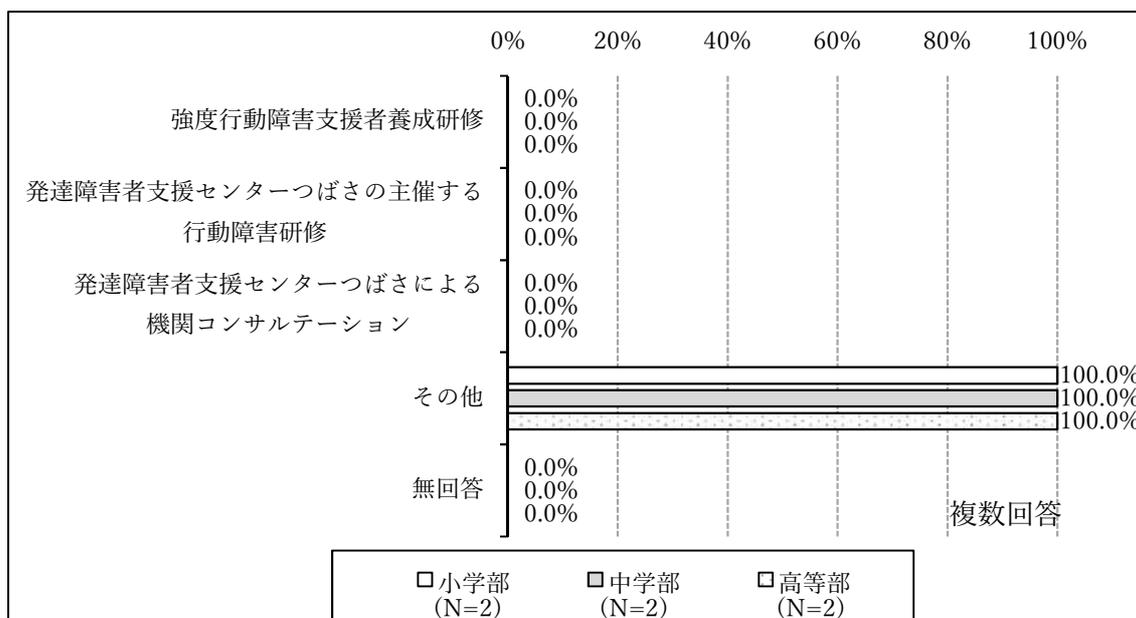
問17 貴校では、強度行動障害の支援に関する研修を受講していますか。

研修を受講しているかについては、「受講していない」が多くなっている。



副問17-1 問17で「受講している」と答えた方におたずねします。どのような研修を受講されましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

どのような研修を受講したかについては、全て「その他」となっている。

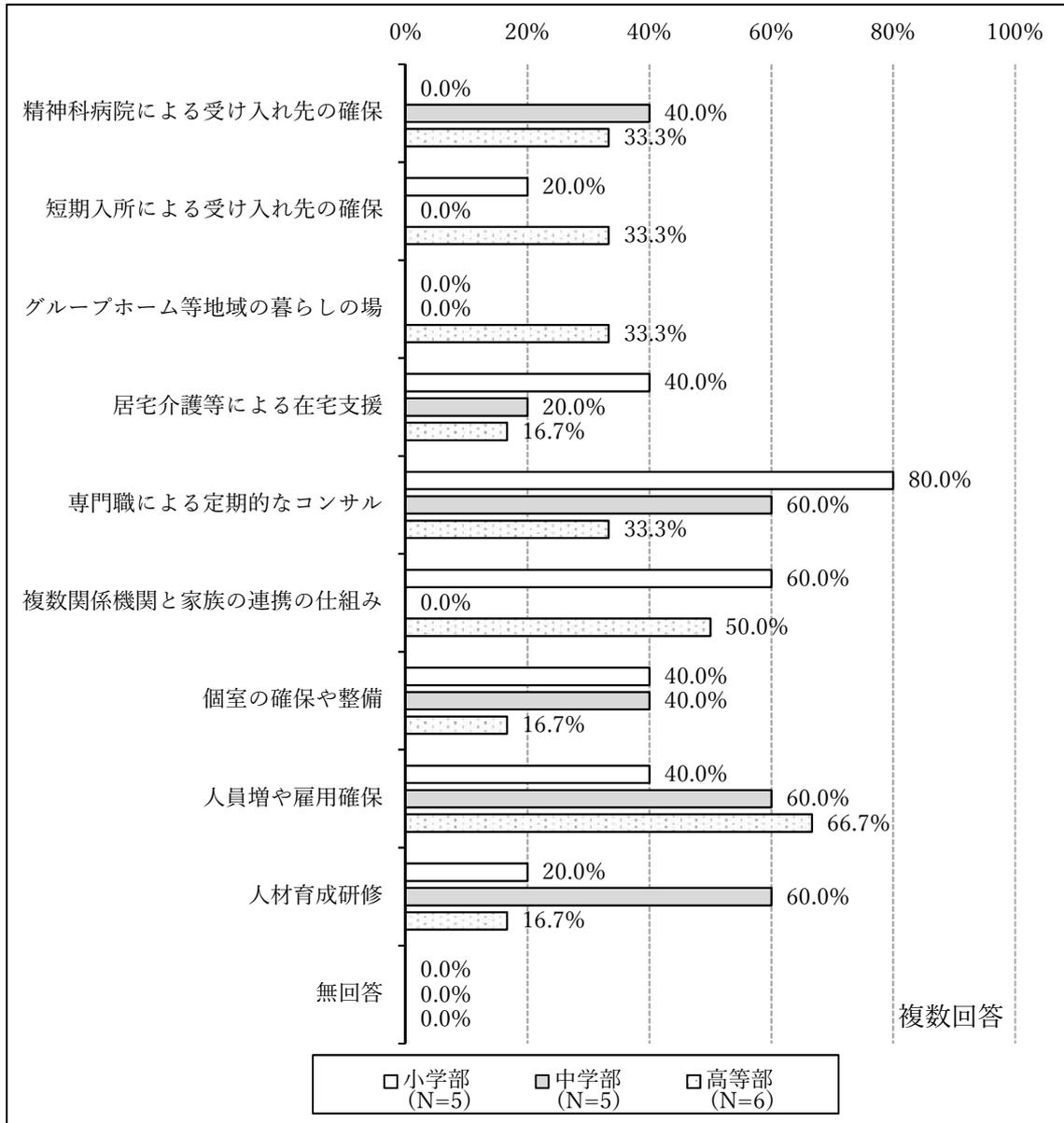


(その他)

- ・ 専門家による研修（今本先生、公認心理士など）（小学部・中学部・高等部）（3）
- ・ 精神科医による研修（小学部・中学部・高等部）（3）

問18 強度行動障害のある人を支援するにあたり、どのような体制が必要だと考えますか。特に重要と思われるものを3つまで選んでください。

必要な体制については、「専門職による定期的なコンサル」、「人員増や雇用確保」、「複数関係機関と家族の連携の仕組み」などが多くなっている。



【最後に発達障害者支援に関するご意見・ご要望などがあれば、ご自由にお書きください】

行動問題のある子をショートステイで受け入れてくれる事業所が少ない。もっと受け入れられる事業所が増えると、家族のレスパイトにつながると思う。(小学部)

学校現場は、強度行動障害に関する研修を受けている教員は、特別支援学校でもごくわずかである。そのため、行動の改善につながらないような対応がされているケースが特別支援学校でもまだ多い。(小学部)

福祉職の方が受けられている強度行動障害支援者養成研修を学校の教員も受講できるようにしていただきたい。正しい知識を持った支援者を増やすことにつながると思う。(小学部)

行動問題のある子は登校時に問題を抱えているケースも多い。行政として、登校支援のサービスについてぜひ検討していただきたい。(小学部)

本校は、強度行動障害の生徒の在籍がないため、「ない」にチェックを入れました。ご理解ください。(高等部)